

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 生涯スポーツ	教員名 高橋 裕貴子	
科目時間数 : 12 限 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども、高齢者、障がい者の各種スポーツ技能の向上、それに関わるスポーツ発展史の理解や障がいのある人もない人も共にスポーツを通して交流できる環境整備を図る ・ 国民スポーツの諸相と課題についての考察 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども、高齢者、障がい者の各種スポーツの技能の向上 ・ スポーツ発展史の理解（ルール史、用具、戦略、戦術史） ・ 国民スポーツの諸相と課題についての考察 <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について専門職として福祉実践に必要な知識・技能を習得する</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料配布 キンボール・スナック ゴルフなどのニュース スポーツ	生涯スポーツの理論と実際 新しい時代の生涯スポーツ ニューススポーツハンドブック	大修館書店 (株) 日本レクリエーション協会 (財) 日本レクリエーション協会
【使用教室】		
1. HR 5. PC実習室	2. 介護実習室 6. 接遇実習室	3. 家政実習室 7. その他 ()
【評価方法】		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席
5. 実技試験	6. その他 ()	
【備考】		
評価について：授業態度、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無		
【内容】 スポーツ施設での講師経験あり		

科目名		科目時間総数	教員名
生涯スポーツ		12 限	高橋 裕貴子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・アイスブレイキング ・生涯スポーツの理念と構図 ・エリクソンのライフサイクル論 ・ライフステージと心の元気作り ・ウィニング・パスDVD鑑賞 ・鑑賞後意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキングの効果高める支援技術 ・同時発生. 同時動作. 指示動作. 説明のゲーム化 (指示動作に楽しみの要素を加えることで、より大きな楽しさを感じられる) ・エリクソンのライフサイクル論を習得 ・エリクソンの発達理論から見たライフステージごとの心の元気づくりの課題 ・高齢期でも維持される能力に注目 ・ある日突然、ひとつの「自由」を失った高校生も挑戦・失うことで。僕は手に入れた生きることの本当の意味を (文部科学省選定・厚生労働省推薦・日本PTA全国協議会推薦・第16回東京国際映画祭ニッポンシネマフォーラム部門 公式出店作品) 文化庁 	
2 限			
3 限			
4 限			
5 限	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・高齢者と生きがいスポーツ ・ニュースポーツの実施 (キャッチングザスティック・スナッグゴルフ・卓球バレー・フライングディスク→アキュラシー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が社会の価値や産業を変える ・マイナス志向「姥捨て山」からプラス「統合」志向の意味を理解 ・高齢期でも維持される能力に注目。加齢に伴う心身機能の低下を理解して考えてみる ・ニュースポーツを通して、楽しむ力を高める方法を学ぶ ・一つの活動の中で複数回の成功体験を楽しむ ・自主的、主体的に活動を楽しむ力は「目標を達成できた」「上手にできるようになった」「よい交流ができた」などの成功体験を段階的に経験することで育まれる。 ・希望郷いわて大会におけるもう一つの取り組み (卓球バレー) 	
6 限			
7 限			
8 限			
9 限	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・体幹を鍛えるストレッチ ・筋力とトレーニングの実際 ・サルコペニア予防の運動ポイントと簡易測定 ・背中正面だぁ～れ ・生涯スポーツ3日間のまとめ・総括・テスト対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たままでストレッチすることのメリットを学ぶ ・関節構成体をストレッチする ・筋肉より奥にある関節を包み込む関節包まで伸ばす手法。特に体幹 (背中周り) ストレッチで筋肉よりも関節構成体を伸ばす手法を学ぶ ・サルコペニアが原因となる疾病と障害の意味と目的を理解する ・体力テスト13種の役割を体験 ・マイナスをプラスにチェンジする練習。リ (再) フレーミング (枠組み) 課題 ・生涯スポーツの必要性、自分で考えた目標を示す ・確認テスト 	
10 限			
11 限			
12 限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	健康科学	教員名	高橋 裕貴子
科目時間数 :	7.5	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 スポーツに関わる知識を知るとともに、これから必要となる健康について学ぶ</p> <p>【授業全体の内容の概要】 テキストをもとに授業を進める ・スポーツの概念 健康の概念について ・スポーツの現状と課題について ・健康と生活におけるトレーニングについて</p> <p>【授業における達成課題】 ・スポーツの概要から歴史を理解する ・簡単にできるトレーニングや身体の仕組みを理解する</p>			
	使用教材	出版社	
	生涯スポーツ・健康科学	近畿大学九州短期大学九州短期大学	
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他 (トレーニング室)</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 スポーツ施設での講師経験あり。</p>			

科目名		健康科学	科目時間総数	7.5 限	教員名	高橋 裕貴子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容				
1 限	スポーツの概念	運動不足の恐ろしさを知り、スポーツの大切さを理解する				
	スポーツの概念	スポーツの広義や狭義、本質的特性を理解する				
2 限	社会生活の変化とスポーツ	余暇社会とスポーツの関わり方を知り、今までやってきたこと、今後やらないといけないことを考える (ディスカッション)				
		労働時間の移り変わりから余暇社会のスポーツを理解する				
3 限	スポーツ参加の現状と課題	文化活動の大切さを知り、地域スポーツの変動を理解する				
		①レジャースポーツや学校スポーツの現在の課題や問題を知り考える				
4 限		①より課題や問題がなぜうまれているかをディスカッションする他、今後何が必要かと考える				
		地域スポーツの問題や現在の岩手県内のスポーツの現状を知る				
5 限	健康の概念	地域スポーツに関わる指導者の現状、クラブの育成について理解する				
		WHOの定義・健康観を理解する (古代・中世・近代)				
6 限	健康・体力と運動	現代社会の健康問題を理解する				
		健康になるための簡単なトレーニング①				
7 限		健康になるための簡単なトレーニング②				
		簡単にできるテーピングを習得する				
7.5 限		健康になるための運動の種類と				

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	基礎法学	教員名	関谷揚子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 法律の基礎理解および法律行為の実態の学習、法による生活のあり方や現代社会におけるものの見方や考え方を習得する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 法律の基礎理解 ・ 法律行為の実態法による生活のあり方 ・ 法律行為の実態法による生活のあり方や現代社会におけるものの見方や考え方</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
	基礎法学	近畿大学九州短期大学通信教育部	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートを合格すること。筆記試験（近大試験）においてA（80点以上）B（70～79）C（60～69）D（59点以下：不合格）とする			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
【内容】			

科目名		科目時間総数	教員名
基礎法学		15 限	関谷揚子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	法律の基礎	法とは何か	
		法と法律の違い	
		解釈のしかたを考える	
		実際の法律をよみながら理解を深める	
2 限			
3 限			
4 限		日本国憲法の理解	
5 限	民法	4つの能力とは	
		基本原則の理解	
6 限		「契約」について理解する	
		「家族」を法律の中で考える	
7 限		相続 遺言について	
8 限			
9 限	労働法	「労働基準法」を読み進める	
10 限			
11 限	刑法	罪刑法定主義とは何か	
		過去の判例を検討する	
12 限		死刑制度について考える	
13 限	裁判所	司法権とは何か	
		裁判員制度を知る	
14 限			
15 限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	英会話 I	教員名	川村 繭子								
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習								
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年								
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中								
<p>【授業の目的・ねらい】 英語を主体とするコミュニケーション能力を身につける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 自分の事を英語で表現できるようになる。 英語でコミュニケーションをとりながら、クラスメートを知り、より発話しやすい環境をつくる。 簡単な英単語がとっさに言える瞬発力を高める。 色々な場面での英会話表現を知り、実際に発話できるように導く。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に英語でコミュニケーションをとる意欲を育て、わからないことを抵抗なく質問したり、考えたり、答えたり、反応したりする力を育て、社会での実践的な会話力につなげる。 ・ 場面に応じた英会話表現をとっさに発話できるようになる。 											
	使用教材	出版社									
学生用	Passport 1 second edition	Oxford Press									
教師参考用	Passport 1 Teacher's guide Passport 1 workbook クイズチャンツ おもてなしチャンツ ジャパンチャンツ	mpi 松香フォニックス出版									
【使用教室】											
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;">1. HR</td> <td style="width: 25%; border: none;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%; border: none;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%; border: none;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5. PC実習室</td> <td style="border: none;">6. 接遇実習室</td> <td colspan="2" style="border: none;">7. その他 ()</td> </tr> </table>				1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室								
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()									
【評価方法】											
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%; border: none;">2. レポート</td> <td style="width: 25%; border: none;">3. 出席</td> <td style="width: 25%; border: none;">4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5. 実技試験</td> <td colspan="3" style="border: none;">6. その他 ()</td> </tr> </table>				1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	5. 実技試験	6. その他 ()		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度								
5. 実技試験	6. その他 ()										
【備考】											
<p>評価について：授業への参加（積極性）課題提出・クラス内プレゼン・筆記試験 および出席率を総合的に評価し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>											
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無											
【内容】 英会話塾講師の実務経験あり											

科目名		英会話 I	科目時間総数	15 限	教員名	川村 繭子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容			
1	限	オリエンテーション 英語で自己紹介する	英語で自己紹介する			
			英語でクラスメートの紹介をする			
2	限	簡単な英会話表現 機内で質問する	How do you say _____ in English? の表現 にとっさに答える			
			Unit 1: Would you like chicken or fish?			
3	限	簡単な英会話表現	Unit 1: Would you like chicken or fish?			
			What's color is _____? の表現 にとっさに答える			
4	限	入国審査に挑む	Unit 2: Can I have your passport, please?			
			Unit 2: Can I have your passport, please?			
5	限	簡単な英会話表現 家族について話す	What's _____? の表現 にとっさに答える			
			Unit 3: My mother has her own business.			
6	限	家族について話す	Unit 3: My mother has her own business.			
			Unit 3: My mother has her own business.			
7	限	簡単な英会話表現 まとめ①	In which month is _____? の表現 にとっさに答える			
			確認テスト			
8	限	簡単な英会話表現	ふりかえり			
			Unit 5: Are you ready to order?			
9	限	食べ物を注文する	Unit 5: Are you ready to order?			
			Unit 5: Are you ready to order?			
10	限	簡単な英会話表現	Unit 5: Are you ready to order?			
			How many _____ are there in _____? の表現 にとっさに答える			
11	限	道をたずねる まとめ②	Unit 6: Where's the station?			
			Unit 6: Where's the station?			
12	限	簡単な英会話表現 病状を話す	ワークショップ 発表			
			What's the first letter of _____? の表現 にとっさに答える			
13	限	病状を話す	Unit 9: I have a stomachache.			
			Unit 9: I have a stomachache.			
14	限	簡単な英会話表現 地元について話す	Unit 9: I have a stomachache.			
			What does _____ say in English? の表現 にとっさに答える			
15	限	まとめ③	Unit 10: I'm from Japan.			
			Unit 10: I'm from Japan.			
スクリーンゲ1	限	簡単な英会話表現	ワークショップ 発表			
			Unit 10: I'm from Japan.			
スクリーンゲ2	限	簡単な英会話表現	ワークショップ 発表			
			Unit 10: I'm from Japan.			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 生活福祉論	教員名 川崎 舞美		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 1 年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 福祉の歴史や制度設計の背景から、日本の社会福祉の発展の経過と目的を知る。 歴史的経過を踏まえて制定された公的扶助と社会保障を理解し、広義の社会福祉制度全体を学ぶ。広義の社会福祉を捉えると共に、自分の生活の身近にある福祉に目を向け、日常生活における福祉観の醸成を図る。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 教科書を基に歴史や仕組みについて学びながら、その時代に課題とされた問題やその制度を利用する方を身近に感じるために、事例を含めながら具体的にイメージする。 一人一人が持っている福祉観を育てるために、身近な問題、地域にある問題にも目を向け、自分事として捉えられるようなワークをする。</p> <p>【授業における達成課題】 ・ 社会福祉の歴史と制度政策の背景を理解し、公的扶助と社会保障の役割について説明することができる。 ・ 家族、地域、友達など、自分の身近にある（起こりうる）福祉に目を向け、現代の社会福祉に求められる視点を高めることができる（福祉観の醸成）。</p>			
	使用教材	出版社	
	生活福祉論	近畿大学九州短期大学通信教育部	
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 2. <input checked="" type="checkbox"/> レポート 3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席 4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：レポート合格の上、科目終末試験の点数によりA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内 容】 児童養護施設指導員、県社会福祉協議会職員の職務経験あり</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
生活福祉論		15 限	川崎 舞美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		
1 限	私の「福祉観」とこの授業のねらい	自己紹介も兼ね、現在（学ぶ前）の自分の福祉観を知る。これから一緒に学ぶ仲間や教員に興味を持つ。この授業で学ぶこと、前期末には修得する目標を共有する。	
2 限	生活と社会福祉	少子化社会や人口の減少等、現在の福祉をめぐる環境を整理しながら、自分の生活の変化に照らして身近な問題を意識する。福祉は自分の事として捉えることができる。	
3 限	社会福祉の概念	広義と狭義の社会福祉を理解し、社会保障制度の目的を学ぶ。→自分の関心ある分野の制度構成を調べ、どんな制度や法律のもとに社会福祉事業が行われているのかを理解する。	
4 限	社会福祉と利用者保護	近年の社会福祉理念の方向性を学び、利用者主体、措置から利用への移行、権利擁護など「福祉を利用する人を守る」仕組みを理解する。	
5 限	社会福祉の歴史①	教科書を基に、その時代に課題とされた福祉的問題と解決策として設立された各種法律や取組を、時代背景と共に学ぶ。	
6 限	社会福祉の歴史②	教科書を基に、その時代に課題とされた福祉的問題と解決策として設立された各種法律や取組を、時代背景と共に学ぶ。	
7 限	スティグマとノーマライゼーション	福祉事業全般や利用する人に対するイメージや関わりについて、自分の体験や身近な例を基に客観的に捉える。現代社会が目指す福祉コミュニティを理解し、福祉教育の意義やあり方を考える。	
8 限	社会福祉の仕組み①	社会福祉制度の特質、関係法律と課題を理解する →法律を作った背景と共に制度を読み、課題を捉える。	
9 限	社会福祉の仕組み②	社会福祉制度の特質、関係法律と課題を理解する →法律を作った背景と共に制度を読み、課題を捉える。	
10 限	公的扶助と社会保障制度①	生活保護制度と社会保険の内容を理解する。	
11 限	公的扶助と社会保障制度②	生活保護制度と社会保険の内容を理解する。	
12 限	記述問題演習①	レポート提出を見据え、記述演習を行いレポート作成に慣れる。→学んだ事をまとめ、自分の考えも含めて文章化することができる。	
13 限	記述問題演習②	レポート提出を見据え、記述演習を行いレポート作成に慣れる。→学んだ事をまとめ、自分の考えも含めて文章化することができる。	
14 限	復習①	科目試験に向け、本科目で学んだ内容とポイントを整理する。第1回の授業で扱う「この授業の達成目標」や「私の自己紹介シート（目標設定）」を振り返り、自己評価する。	
15 限	復習②	科目試験に向け、本科目で学んだ内容とポイントを整理する。第1回の授業で扱う「この授業の達成目標」や「私の自己紹介シート（目標設定）」を振り返り、自己評価する。	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	生活情報論	教員名	阿部修巳
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中			
<p>【授業の目的・ねらい】 情報の意味と情報機器の発達過程とトータルな情報機器の理解、ワープロ、表計算、プレゼンテーションのオフィススイートの基本手操作の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・WORD（ワープロ） ・EXCEL（表計算） ・PowerPint（プレゼンテーション）</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	生活情報論・情報倫理	近畿大学九州短期大学・(株)技術評論社	
教員用	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019 Word2019 基礎・ドリル	FOM出版 //	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
<input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職（事務職、設計業務、製作・組立）			

科目名		科目時間総数	教員名
生活情報論		15 限	阿部修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	タイピング 生活情報論	タッチメソッドの練習 第1章 生活情報論とは タッチメソッドの練習	
2 限	〃	第2章 情報とは タッチメソッドの練習	
3 限	〃	第3章 情報化と情報機器との関係 タッチメソッドの練習	
4 限	〃	第3章 情報化と情報機器との関係 タッチメソッドの練習	
5 限	〃	第4章 情報化の進展で得られたもの タッチメソッドの練習	
6 限	〃	第5章 情報化社会に参加する タッチメソッドの練習	
7 限	〃	第6章 人間と情報 〃	
8 限	〃	タッチメソッドの練習 第7章 情報化社会への適応 タッチメソッドの練習	
9 限	文書の編集	第8章 人・組織・社会とコンピュータ タッチメソッドの練習	
10 限	〃	第9章 21世紀への巨視的な流れ タッチメソッドの練習	
11 限	〃	第10章 21世紀への微視的な流れ タッチメソッドの練習	
12 限	〃	第11章 21世紀への情報通信サービス タッチメソッドの練習	
13 限	〃	第12章 マルチメディアとは タッチメソッドの練習	
14 限	〃	第13章 身近な情報通信	
9 限	文書の編集	色々な書式の設定、スタイルの登録、ヘッダー・フッターの作成……	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	表現力を高める	オンライン画像、ワードアート、図・写真の挿入……	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	図形描画機能	図形の作成と書式の設定、図表の挿入、複数図形の組合せ……	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	文書作成練習	オンライン画像、ワードアート、図・写真の挿入……	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	各種書式の組み込み、図形、写真等を挿入した文書作成	
21 限	確認試験	実技的要素の確認	
22 限	〃	〃	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	衣生活論	教員名	鈴木由美子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 ヒトと衣服との関係を自然科学・社会科学両面から捉え、本来の機能を理解する。多様化、進歩している衣生活の内容を理解する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ ヒトと衣服との関わり及び機能の理解 ・ 多様化、進歩する衣服素材についての知識 ・ 衣類全般の正しい維持管理方法 ・ 場面環境に応じた衣服の適切な選択 ・ 高齢者・障がい者対応の衣服</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識がわかる</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	衣生活論	近畿大学九州短期大学	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートを合格すること。試験において60点以上を合格とする。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 教員としての実務経験（高校・大学）			

科目名		科目時間総数	教員名
衣生活論		15 限	鈴木由美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション 福祉実践における人と衣服の関わり	オリエンテーション 衣服の保健衛生上機能を理解する	
2 限	〃	衣服の身体防護機能を理解する 衣服の社会生活上の役割を理解する	
3 限	〃	服飾の起源を通して人と衣の関わりを学ぶ	
4 限	〃	衣服の基本形態を通して世界各地の風土文化を学ぶ	
5 限	福祉実践における衣服素材	繊維素材の種類・性能を理解する	
6 限	〃	素材加工について理解する	
7 限	〃	素材の最近の動向を理解する	
8 限	〃	布地構成の種類・しくみ・特徴を理解する	
9 限	〃	素材に応じた洗濯技法を習得する	
10 限	〃	衣服の管理方法を理解する	
11 限	福祉実践における衣服選	合理的な衣類購入について学ぶ	
12 限	〃	高齢者対応の衣服を理解する	
13 限	〃	障がい者対応の衣服を理解する	
14 限	福祉実践における医療事	既製衣料提供のしくみを理解する	
15 限	〃	衣生活と環境について理解する	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	食生活論	教員名	小番由紀子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 :	2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 食生活の現状を把握し、健康に過ごすために、食品の栄養と特徴を学び、バランスのとれた食生活を送るための知識を習得する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 食生活や家族の変化と現状、5大栄養素、食品群、食品の栄養的特徴と活用方法</p> <p>【授業における達成課題】 現在の食生活を把握し、これからの自分自身と家族がどのような食事をすればいいのか考える態度をもてるようにする</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	食生活論 フード&クッキング	近畿大学九州短期大学 実教出版	
教員参考用	生活学 調理と理論	実教出版 同文書院	
【使用教室】			
<p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
【評価方法】			
<p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
【備考】			
評価について：レポートを合格すること。試験で60点以上を合格とする。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
【内容】			

科目名		科目時間総数	教員名
食生活論		15 限	小番由紀子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	食事について	自身の食事記録を作成し、どのような食事が望ましいかを考え答えることができる	
		"	
2 限		家族形態の変化と食生活の変化と女性の社会進出と家族の食事作りの影響について考え答え考察することができる	
		"	
3 限	食品群	食品群についての理解と活用方法について学ぶ。5大栄養素のはたらきについて説明することができる（炭水化物・脂質）	
		"	
4 限	栄養素について	5大栄養素のはたらきについて説明することができる（タンパク質・無機質・ビタミン）	
		"	
5 限		食品群摂取量の活用方法について学ぶ（三色食品群・四つの食品群・六つの食品群）	
		"	
6 限		植物性食品について、栄養的特徴と活用方法について説明することができる（穀類・いも類）	
		"	
7 限		植物性食品について、栄養的特徴と活用方法について説明することができる（豆類・野菜類・果実類）	
		"	
8 限		動物性食品について、栄養的特徴と活用方法について説明することができる（鳥獣肉類）	
		"	
9 限		動物性食品について、栄養的特徴と活用方法について説明することができる（魚介類）	
		"	
10 限		動物性食品について、栄養的特徴と活用方法についてせつめいすることができる（卵類）	
		"	
11 限		動物性食品について、栄養的特徴と活用方法について説明することができる（乳類）	
		"	
12 限	調味料・香辛料	調味料・香辛料の種類と特徴を学び、説明することができる	
		"	
13 限	加工品	特殊加工品の種類と特徴を学び説明することができる	
		"	
14 限	バランスのよい食事	バランスのよい食事について考え、献立作りについて学び実践できる	
		"	
15 限		バランスのよい食事について考え、献立作りについて学び実践できる	
		"	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 住生活論	教員名 山添 英順	
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 健康的・衛生的な住生活を送るための住環境に対する基礎知識を学び、室内環境における諸問題に気がつき、解決の視点を持ち、専門職や住生活等に取り入れる応用力を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 住居と住生活 ・ 室内環境と住生活</p> <p>【授業における達成課題】 社会福祉専門職及び日常生活の中で、当該科目において学んだ住生活における各知識を活かすことができるようになる。</p>		
	使用教材	出版社
	「住生活論」	近畿大学九州短期大学
<p>【使用教室】</p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 2. <input checked="" type="checkbox"/> レポート 3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席 4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポート合格及び、科目終末試験において、60点以上を合格とする。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 建築設計士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
住生活論		15	山添 英順
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標
1	限	オリエンテーション 住まいとは	授業の内容、テキスト等について理解することができる。 住まいの語源的な概念と住まいの役割について知ることができる。
2	限	住生活と住空間	住生活行為を分析し、その内容と住宅の具体的な空間について知ることができる。
3	限	生活秩序を守る住まい方	住生活の生活秩序を守るための原則的な住まい方について知ることができる。
4	限	気候風土と住まい	日本と西洋の気候風土の違いによって育まれた、それぞれの住空間等について知ることができる。
5	限	住生活と家具の問題	近年の工業化社会がもたらした、多家具現象について考察しながら、生活と物と空間について、その効用と問題点について知ることができる。
6	限	家族周期と住生活	家族周期について学び、家族生活の変化の各段階と住宅への調和の方法とその必要性について知ることができる。
7	限	日射・日照	日照の必要性や季節と方位と日照の関係を学び、夏季や冬季における住宅の日照について知ることができる。
8	限	光環境	採光と窓との関係、室内照度の様々な要因と、人工照明の目的や室内の快適な光環境の知識を知ることができる。
9	限	〃	〃
10	限	室内気候Ⅰ（温熱環境）	快適な温熱環境の指標について学び、防暑対策や暖房と室内温度との関係や温熱環境の面から、快適な住生活について知ることができる。
11	限	〃	〃
12	限	室内気候Ⅱ（空気・湿気）	室内空気の汚染の要因や換気方法、換気設備について学び、高温多湿な日本の気候風土の中で、湿気、結露防止の重要性とその対策について知ることができる。
13	限	〃	〃
14	限	音環境	生活につきものの音について、不快といわれる騒音の種類と要因、その防止対策、音に関する環境基準について知ることができる。
15	限	まとめ	これまでの学習内容について復習を行い、内容を再確認することができる。

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	栄養学概論	教員名	古澤 美智子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 栄養の基本的概念およびその意義について理解し、栄養に関する基本的な知識を生活・福祉それぞれの視点から、食生活が果たす役割について学習する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・過去の栄養状態や食品の摂取状況 ・代表的な栄養である5大栄養素の働き ・各ライフステージ毎の特徴 ・長い人生を健やかに生きるための食事についての考察</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
学生用 教員参考書	栄養学概論 基礎栄養学	近畿大学九州短期大学通信教育部 南山堂	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートを合格すること。筆記試験（近大試験）においてA（80点以上）B（70～79）C（60～69）D（59点以下：不合格）とする			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 栄養士としての実務経験あり			

科目名		科目時間総数	教員名
栄養学概論		15 限	古澤 美智子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	現代の食生活と健康	社会環境の変化に伴う私たちの生活と食生活の変容、生活習慣病とその原因について理解する	
2 限			
3 限	栄養と栄養素	5大栄養素の特徴と体内での働きを学び、各栄養素を多く含む食品と効果的な接種方法について学ぶ。 糖質の特徴・資質の特徴・タンパク質の特徴・無機質の特徴・ビタミンの特徴を学ぶ	
4 限			
5 限			
6 限			
7 限			
8 限	エネルギー代謝と食事摂取基準	エネルギー生産と消費の仕組みを理解する バランスの良い食事とはどのようなものか、何をどれだけ食べたらよいかを理解する	
9 限	妊娠・授乳期の栄養 乳児期の栄養 幼児期の栄養 学童期、思春期の栄養	各期間の意義、特徴、望ましい栄養摂取、注意点を学ぶ	
10 限			
11 限			
12 限			
13 限	成人期の栄養 老年期の栄養 食生活指針	成人期、老年期の特徴と望ましい栄養摂取、注意点を学ぶ 策定の背景と、その趣旨を理解する 食生活指針の具体的内容を学ぶ	
14 限			
15 限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	生活デザイン論	教員名	山添 英順
科目時間数 :	15	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	1年次
		開講時期 :	前期・(後期)・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 生活デザインの概念・意味の理解と、論理の理解を通じ、今日のデザインを検証し、明日のデザインの在り方を想像する能力を身につけるための学習とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・生活デザインとは何か ・生活デザインの分野についての概説 ・生活デザインの意味 ・様々な生活デザインとその歴史等</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職及び住生活の中で、それらに関わる様々な知識を習得し、それらを活かすことができる。</p>			
	使用教材	出版社	
	「生活デザイン論」	近畿大学九州短期大学	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポート合格及び、科目終末試験において、60点以上を合格とする。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 建築設計士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
生活デザイン論		15 限	山添 英順
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置付けについて理解することができる。	
	生活デザインとは何か	生活デザインの意味、分類について理解することができる。	
		生活デザインの持つべき条件や、	
2 限		社会的背景について理解することができる。	
3 限		生活デザインの素材について理解することができる。 ここまでの復習をすることで、内容を再確認することができる。	
4 限	近代デザイン史 1	産業革命から、美術工芸運動（アーツ・アンド・クラフツ）、 グラスゴー派について知ることができる。	
5 限	近代デザイン史 2	アール・ヌーヴォーについて知ることができる。	
6 限	近代デザイン史 3	ヨーロッパ各地におけるアール・ヌーヴォーについて 知ることができる。	
7 限	近代デザイン史 4	アール・ヌーヴォー以後の芸術に関する新しい動きについて 知ることができる。（シカゴ派、ドイツ工作連盟など）	
8 限	近代デザイン史 5	新造形主義、純粋主義などについて知ることができる。 （モンドリアンによるデ・ステイルや、ル・コルビュジェなど）	
9 限	近代デザイン史 6	バウハウスについて知ることができる。	
10 限	近代デザイン史 7	アールデコについて知ることができる。	
11 限	近代デザイン史 8	アメリカデザインについて知ることができる。	
12 限	近代デザイン史 9	南アメリカ、ヨーロッパ各国のデザインについて知ることができる。	
13 限	近代デザイン史 10	ヨーロッパ各国及び、日本のデザインについて知ることができる。	
14 限	近代デザイン史 11	現代デザインについて知ることができる。	
15 限	復習とまとめ	これまでの復習を行なうことで、 生活デザインについて、その内容を再確認することができる。	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	住居設計	教員名	山添 英順
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 :	2年次
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 住居の設計について、その基本的な知識を学び、住空間を計画する上での重要な事柄を知る。また、製図の知識の習得と、基本的な技術や表現について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・住居設計の知識（平面計画に必要な知識、間取りの考え方や動線計画、平面形と敷地との関係、設計に必要な住宅各室についての知識、住宅の構造、投影図法の理解と作図演習、住宅の主要図面の種類等） ・設計製図の基本技術（住宅の計画に必要な条件、図面表示の方法、計画の手順、演習等）</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職及び住生活の中で、それらに関わる様々な知識を習得し、それらを活かすことができる。</p>			
	使用教材	出版社	
	「住居設計」	近畿大学九州短期大学	
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 <input checked="" type="checkbox"/>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/>2. レポート <input checked="" type="checkbox"/>3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/>4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：レポート合格及び、科目終末試験において、60点以上を合格とする。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/>有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 建築設計士としての実務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
住居設計		15 限	山添 英順
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	住生活の組織化と平面計画	住生活の様々な生活行為を組織化することによって、その生活と住居設計の基礎になる生活と空間との関係について知ることができる。	
2 限	平面計画の考え方 1	平面計画を考える上で、構想の基本的な考え方、プランタイプの分類と住まい方、動線とは何か、平面形と敷地形状との関連と	
3 限	平面計画の考え方 2	考え方を理解し、具体化していく方法を知ることができる。 (以上、2回に分けて講義)	
4 限	生活空間と平面計画 1	各生活空間を個人的生活空間、社会的な生活空間、労働的な生活空間、共用的な生活空間、交通空間、収納空間に分類し、	
5 限	生活空間と平面計画 2	その基本的な考え方と、各空間に必要な基礎的知識について知ることができる。	
6 限	生活空間と平面計画 3	(以上、3回に分けて講義)	
7 限	住宅の構造	住宅で多く用いられている木構造を中心に、各種構造について知ることができる。	
8 限	これまでのまとめ・復習	これまでの講義の内容を復習することで、内容を再確認することができる。	
1 日目	【スクーリング】 住空間の表現技法	投影図法について、その目的や表現方法を学び、それらを演習を通して体験をすることができる。	
2 日目	【スクーリング】 住宅の図面と製図	住宅の設計図等を作成するための製図の基本や注意点を学び、各種図面の役割や必要性について知り、それらを演習を通して体験をすることができる。	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	コンピュータグラフィックス I	教員名	松森 良子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 効率的な情報伝達方法のひとつとして、コンピュータグラフィックスを用いた視覚効果を学ぶ。習得したアプリケーションソフトの技法を活用し、業務で使えるポストカード、リーフレットなどの広報物の作成できる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ①パソコン上での画像の扱いやイラスト作成の方法を学ぶ ②パソコンでカードやリーフレットなどを制作する</p> <p>【授業における達成課題】 ①デジタル画像、色彩の基礎知識を学ぶ ②画像処理・描画制作のアプリケーションの基本的な使用方法を身に付ける ③作品の制作ができる</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	GIMP2.10独習ナビ	インプレス	
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他 (MCL PC室)</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 (作品)</p>			
【備考】 使用ソフト：画像系…GIMP2.10			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 初級システムアドミニストレータ、中学校教員免許の実務経験あり			

科目名 コンピュータグラフィックス I		科目時間総数 15 限	教員名 松森 良子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション PC環境	授業の目的および目指す目標について理解できる 自分のパソコンで環境設定ができる (GIMPインストール)	
2 限	基礎知識	デジタル画像の仕組みを理解できる (・ 解像度・ビットマップ形式とベクター形式の違い) (・ ファイル形式の特徴と用途・色彩知識)	
3 限	撮影	撮影時のポイントを理解し、目的に合った撮影ができる	
4 限	画像の色調補正①	明度の補正ができる 彩度と色相の補正ができる レベル補正ができる	
5 限	画像の色調補正②	トーンカーブで補正ができる 画像の切り抜きができる	
6 限	画像の合成	レイヤーの構造を理解し、2つの画像を合成できる	
7 限	ロゴ作成	図形描画、テキスト入力編集を理解し、イラストを組み合わせロゴが作成できる	
8 限		↓	
9 限	ポスターカード 作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に合った撮影方法で撮影できる ・ 画像補正ができる ・ 画像の切り抜きができる ・ テキスト入力編集ができる 	
10 限			
11 限			
12 限			
13 限	リーフレット作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な記事を、どのように読んで欲しいか、どのような感想を持って欲しいかを考え、構成できる ・ 全体として見やすく楽しい紙面構成にできる ・ 画像補正、テキストを活用できる ・ まとめ 振り返り、補足説明など 	
14 限			
15 限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	人間関係論	教員名	佐藤雅子
科目時間数 :	15 限	授業の種類 :	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭、学校、職場、地域社会、国際社会など、様々な視点から人間関係をとらえることができるようになる。 ・ 歴史的経過や社会的状況に加え、人間の発達段階やコミュニケーションも含めた人間関係の構築について理解を深め、洞察力を身につける。 			
<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>人間関係に関する歴史的経過や、現在の社会的状況について講義しつつ、身近な人間関係を理解し深めるための心理学やコミュニケーションに関する補足を加える。また、関連した演習も一部取り入れる。</p>			
<p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、対人援助職として必要な知識と考察力を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
	人間関係論	近畿大学九州短期大学通信教育部	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 社会福祉士としての実務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
人間関係論		15 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1. 現代における人間関係の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的存在としての人間 ・人間関係の諸局面 	
2 限	4. 家庭における人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の形成、家族の変化 ・家庭をとりまく問題 ・良き家族とは ・家庭の役割 	
3 限	2. 人間関係の構築と持続	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の選択と交際 ・人間関係を左右する要素 	
4 限		<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係のより良き発展のために 【演習】 良いコミュニケーションとは 	
5 限	3. 友人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・友人関係の諸形態 ・良き友人関係とは ・青年期における友人 	
6 限	6. 職場での人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・職場とは ・日本的経営 ・仕事上の結びつき ・仕事を離れた付き合い 	
7 限	5. 学校における人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・人間形成の場としての学校 ・学校の特色 ・わが国の学校制度 ・学校の問題点 	
8 限		<ul style="list-style-type: none"> ・良き人間関係の構築における学校の役割 ・教師と生徒、生徒同士の関係 ・生徒たちの求める仲間 	
9 限		<ul style="list-style-type: none"> 【演習】 学校における人間関係の課題 (不登校やひきこもりの問題の分析) 	
10 限	7. 地域社会での人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会での人間関係 ・地域社会の変容と人間関係 ・地域社会の活性化のために 	
11 限	8. 国際化・情報化時代における人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・国民としての自覚 	
12 限	心理学的視点からみた人間関係	心理学的視点からみた人間関係	
13 限		<ul style="list-style-type: none"> 【演習】 アドラー心理学の育児と教育 横の関係と健康なパーソナリティ 	
14 限		<ul style="list-style-type: none"> 【演習】 自己受容、他者貢献、他者信頼、共同体意識 	
15 限	まとめ	授業の振り返りとまとめ	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	介護保険事務概論	教員名	箱石 隆子
科目時間数 :	7.5	時間	授業の種類 : (講義) ・ (演習) ・ 実習
必修・選択の別 :	(必修) ・ 選択	配当学年 :	2 開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ (集中)
<p>【授業の目的・ねらい】 ケアクラーク合格を目指し、介護保険請求事務算定を理解し請求書作成技能を習得するための学習とする</p> <p>【授業全体の内容の概要】 単位数の算定方法とレセプト作成技能の習得を目指す</p> <p>【授業における達成課題】 介護朋友請求事務能力を身に付け、ケアクラーク検定に合格をする</p>			
	使用教材	出版社	
学生・教員用	介護保険請求事務別冊	ニチイ	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：出席率100%、筆記試験60点以上で単位認定			
A(80点以上) B(79～70点) C(69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する			
【担当教員の実務経験の有無】			
有 ・ (無)			
【内容】			

科目名		科目時間総数	教員名
介護保険事務概論		7.5	箱石 隆子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 介護保険制度の仕組み	授業の位置づけ、目的、進め方と資料作成について理解する 介護保険制度の背景と要介護認定の仕組みを知る 介護支援専門員の位置付けと業務内容を知る 介護サービス計画の作成の目的・手順を知る 介護給付費単位表を使うことができるようになる レセプト記載と端数処理ができる	
2 限			
3 限	介護給付費算定の仕方	訪問介護費・訪問入浴費の算定ができる 訪問介護サービス費・居宅療養管理指導費の算定ができる 通所介護費・通所リハビリテーション費の算定ができる 短期入所サービス費の算定ができる 介護福祉施設サービス費の算定ができる 介護療養型医療施設サービス費の算定ができる 福祉用具貸予・居宅介護支援費の算定ができる	
4 限			
5 限			
6 限			
7 限			
7.5 限	試験		

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	介護保険事務演習	教員名	箱石 隆子
科目時間数 :	7.5	時間	授業の種類 : (講義) ・ (演習) ・ 実習
必修・選択の別 :	(必修) ・ 選択	配当学年 :	2 開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ (集中)
<p>【授業の目的・ねらい】 ケアクラーク合格を目指し、介護保険請求事務算定を理解し請求書作成技能を習得するための学習とする</p> <p>【授業全体の内容の概要】 単位数の算定方法とレセプト作成技能の習得を目指す</p> <p>【授業における達成課題】 介護朋友請求事務能力を身に付け、ケアクラーク検定に合格をする</p>			
	使用教材	出版社	
学生・教員用	介護保険請求事務別冊	ニチイ	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：出席率100%、筆記試験60点以上で単位認定</p> <p style="text-align: center;">A(80点以上) B(79～70点) C(69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ (無)</p>			
<p>【内容】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
介護保険事務演習		7.5	箱石 隆子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	訪問介護費・訪問入浴費のレセプト記載ができる。	
		訪問看護費・居宅療養管理指導費のレセプト記載ができる。 通所介護費・通所リハビリテーション費のレセプト記載ができる。 短期入所生活介護費のレセプト記載ができる。	
2 限	算定の仕方	介護福祉施設サービス費のレセプト記載ができる。 介護保健施設サービス費のレセプト記載ができる。 介護療養型医療施設サービス費のレセプト記載ができる。 福祉用具貸与費・居宅介護支援費のレセプト記載ができる。	
3 限	レセプト作成	様式第二のレセプト作成が出来るようになる	
4 限		様式第三のレセプト作成が出来るようになる	
5 限		様式第八のレセプト作成が出来るようになる	
6 限		様式第九のレセプト作成が出来るようになる	
7 限		様式第十のレセプト作成が出来るようになる	
7.5 限	試験	科目修了試験	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 医療福祉事務総論	教員名 中村和歌子
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般医学の基礎知識を学ぶ ・ 一般的な疾病について学ぶ ・ 医療事務に携わる者に必要な医療施設について学ぶ <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般医学の基本となる知識 ・ 一般的な疾病の基礎知識 ・ 医療施設について学ぶ <p>【授業における達成課題】 社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得し他職種との連携を図ることができる</p>	
	使用教材
学生・教員	最新・社会福祉士養成講座 医学概論
	出版社
	中央法規出版
【使用教室】	
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室 7. その他 ()
【評価方法】	
1. 筆記試験	2. <input checked="" type="checkbox"/> レポート 3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()
【備考】	
評価について：レポートは合格すること。筆記試験は60点以上を合格とする。	
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
【内容】 病院での実務経験有り	

科目名		科目時間総数	教員名
医療福祉事務総論		15 限	中村和歌子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	身体の構造と心身機能を理解	
	医学に関する知識	疾病の発症原因と成立機序を理解	
2 限	〃	消化器の構造と機能を理解	
		消化器疾患の理解	
3 限	〃	循環器の構造と機能を理解	
		心臓・血管・血液の流れのしくみと理解	
4 限	〃	血液の流れのしくみと呼吸器系との関連の理解	
		血圧・心疾患の理解	
5 限	〃	呼吸器の構造と機能を理解	
		口腔・鼻腔・気管・肺・呼吸器疾患の理解	
6 限	〃	レポート対策	
		レポート対策	
7 限	〃	血液について理解（貧血等）、炎症について理解	
		血液・免疫・アレルギー疾患、感染症の理解	
8 限	〃	泌尿器系・生殖器系の構造と機能を理解	
		腎・泌尿器・生殖器の疾患の理解	
9 限	〃	脳・神経の理解 脳血管疾患の理解	
		精神疾患の理解	
10 限	〃	発育について理解（胎児について理解）	
		癌について理解、難病の理解	
11 限	〃	テスト対策	
		テスト対策	
12 限	〃	内分泌器官の理解	
		内分泌・代謝疾患の理解	
13 限	〃	感覚器について理解。目・耳・皮膚について理解	
		骨格系、筋系の理解と骨・関節の疾患について理解	
14 限	〃	高齢者に多い疾患について理解	
		生活習慣病について理解	
15 限	〃	グループワーク	
		まとめ	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	介護概論	教員名	加東恵
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 多様化による専門職の役割の理解と実践力を身に付ける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 援助の基本視点 ・ 保健福祉の制度 ・ 利用者の理解 ・ 介護の知識と方法 ・ 生活援助・相談援助 </p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、介護の基本、直接援助について学ぶ、介護職と他の職種との連携の重要性についてを理解する</p>			
	使用教材	出版社	
	介護職員初任者研修	介護労働安定センター	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：筆記試験はA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 福祉施設での現場経験有り			

科目名		科目時間総数	教員名
介護概論		15 限	加東恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する	
	介護の基本的な考え方	介護環境の特徴	
		在宅サービス・施設サービスについて学ぶ	
2 限			
3 限			
4 限	介護に関するこころのしくみ	学習と記憶に関する基礎知識について理解する	
		感情と意欲	
		自己概念と生きがい	
		老化や障害の受け入れ	
5 限			
6 限	多様なサービスの理解	多様なサービスと介護職に仕事に就いて学ぶ	
		介護保険の概要	
7 限		介護保険制度下の介護（ケアプラン・実際の職務など）	
8 限	介護職の仕事内容や働く現場の理解	実際の介護職の仕事内容についての理解と現場についての現状を理解する	
9 限			
10 限	介護職の役割・専門職と多職種との連携	他職種との連携について理解する	
11 限			
12 限	介護職の職業倫理	介護職の職業倫理について学ぶ	
13 限	介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護における安全の確保・介護職の責務について学ぶ	
		リスクマネジメントとは何か	
14 限	介護職の安全	介護職員の健康が介護の質に影響を与えることを理解する	
		介護職に起こりやすい障害	
15 限	全体まとめ	学習全体の振り返り	
	振り返りテスト	テスト	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	社会福祉基礎演習	教員名	佐藤雅子
科目時間数 :	8	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】			
福祉サービスの提供に必要な社会福祉制度の基本的な知識を習得する。			
【授業全体の内容の概要】			
介護保険制度、障害者総合支援法、公的年金制度の理解について、講義及び演習による授業を行う。			
【授業における達成課題】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度の概要について説明できる。 ・ 障害者総合支援制度の概要について説明できる。 			
	使用教材	出版社	
	介護職員初任者研修テキスト第2分冊	介護労働安定センター	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 介護の現場経験、社会福祉士としての実務経験あり			

科目名	社会福祉基礎演習	科目時間総数	8 限	教員名	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容			
1 限	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 第1節 介護保険制度等	1 介護保険制度等創設の背景と目的・動向			
2 限		2 介護保険制度等創設の仕組みと基礎的理解			
3 限		3 介護保険制度の財源、組織・団体の機能と役割			
4 限	第3節 障害者総合支援法とその他の制度	4 医療保険制度の概要			
5 限		5 年金制度の概要			
6 限		1 制度創設の理念・背景と目的 《障がい者の状態像》			
7 限	まとめ	2 制度の仕組みと基礎的理解			
8 限		3 個人の権利を守る制度の概要			
7 限	まとめ	【演習】介護保険制度と障害者総合支援法の比較整理			
8 限		発表・まとめ			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康管理学	教員名 菊池 要子
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 WHOの健康の定義を理解したうえで、身体のしくみと疾患を知り、健康寿命を延ばすために、介護職ができることを考える。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 WHOの健康とは、を理解できる。 身体のしくみを理解できる。 日本人がり患しやすい疾患について理解できる。 健康寿命を延ばすために我々ができることを考えられる。</p> <p>【授業における達成課題】 健康管理を理解し、バイタルサインを知り、正常異常、いつもと違う変化に気づくことができる。 医療者に的確に報告し連携をとることができる。</p>	
使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	健康 管 理 学 近畿大学九州短期大学
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 看護師として、病院や福祉施設にて実務経験有り</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
健康管理学		15 時間	菊池 要子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	WHOの健康の定義 血液が持つ情報	自己紹介 左記を覚える。 貧血・血糖値など血液成分や検査値が教えてくれる情報を学ぶ。	
2 限	免疫と血液 体温と発熱	免疫とは何か・血液の働きと抗体について学ぶ。 体温が持つ意味・測定方法・基礎体温について理解する。	
3 限	ビタミン 人体を構成する元素と 鉱物質	ビタミンの健康に対する意義・歴史・それぞれのビタミンを学ぶ。 人体を構成している元素の意義・それぞれの元素を学ぶ。	
4 限	妊娠と育児 妊娠と育児	妊娠・新生児・小児の成長と発育・発育段階について理解する。 小児の生理・よくある病気・小児がんについて学ぶ	
5 限	感染症 がん（癌）	感染症・食中毒について理解できる。 “がん”とは？種類・原因と遺伝子などについて学ぶ	
6 限	がん（癌） エイズについて	“がん”細胞の発育・どこにできるか・遺伝するかを学ぶ。 エイズ&H I Vについて理解できる。偏見・検査・感染経路を学ぶ	
7 限	健康・体力と運動 生活におけるtraining	現代社会の健康阻害要因・運動不足の実態・運動・体力などを学ぶ。 運動処方・トレーニングの科学的基礎について学ぶ。	
8 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第2分冊4章第2節；医療との連携とリハビリテーション 医療的ケアを理解する。訪問看護との連携	
9 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	※人形を使って、経管栄養・喀痰吸引を理解する。	
10 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第3分冊6章；老化の理解/高齢者と健康	
11 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	※老人体験セットを使って実際に体験する	
12 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第3分冊7章；認知症の理解 ※認知症関連映像を観る 認知症の人、本人の気持ちを理解する。支援方法を考える。	
13 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	第4分冊9章第2節；介護に関するところのしくみの基礎的理解 第3節；介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
14 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	地域包括的ケアシステムについて理解できる。	
15 限	介護職員初任者研修 介護職員初任者研修	健康寿命を延ばすために、地域包括ケアシステムを活用した取り組みを考察できる。 各自の考えを発表し、理解を深め、まとめとする。	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	社会福祉援助技術		教員名	阿部 孝司	
科目時間数 :	8 限		授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 :	必修・選択		配当学年 :	1年	
開講時期 :					
<p>【授業の目的・ねらい】 介護サービス提供において中心的な役割を果たす福祉専門職に必要な社会福祉援助技術に関する基本知識の習得とケアプランの作成</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・福祉専門職に必要な社会福祉援助技術に関する基本知識</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、福祉専門職として福祉実践に必要な知識・技術を習得する</p>					
		使用教材	出版社		
学生・教員		介護職員初任者研修テキスト	介護労働安定センター		
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>					
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 (課題分析とケアプラン作成</p>					
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポート、出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>					
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内容】 福祉施設での現場経験有り</p>					

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉援助技術		8 限	阿部孝司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	障害の基礎的理解	オリエンテーション 障害の概念とICFについて理解する	
	障害の医学的側面の基礎的知識	肢体不自由(身体障害)について理解する	
2 限	〃	内部障害について理解する	
	〃	聴覚障害・視覚障害について理解する	
	〃	音声・言語・咀嚼機能障害について理解する	
	〃	精神障害について理解する	
	〃	統合失調症について理解する	
	〃	躁うつ病等について理解する	
	〃	神経性障害について理解する	
3 限	〃	アルコール依存症について理解する	
	〃	知的障害について理解する	
	〃	発達障害について理解する	
	〃	ダウン症について理解する	
4 限	〃	高次脳機能障害について理解する	
	家族の心理かかわり支援の理解	家族の心理について理解する 家族へのかかわり支援について理解する	
	ビデオ学習 まとめ	障がいについてのビデオ学習 理解度確認テスト	

科目名		科目時間総数	教員名
相談援助技術		16 限	阿部孝司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
5 限	アセスメント	記録の書き方やアセスメントの講義	
	”	介護保険利用の事例について読み合わせする	
6 限	”	事例のアセスメントを読み解く	
	ビデオ学習	介護保険制度の実際を知る	
	課題分析	事例の課題分析の方法を学ぶ	
7 限	介護保険制度	介護保険制度について学ぶ	
	ケアプラン作成	グループでケアプランの作成を行う	
	ケアプラン作成発表	グループ毎にケアプランの発表を行う	
8 限	ビデオ学習	ケアマネージャーの実際を知る	
	まとめ	相談援助技術の講義の振り返り	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	介護技術	教員名	大崎幸司
科目時間数 :	43	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 尊厳を保持し、自立及び自律を尊重する介護の基本を前提に、利用者の潜在能力を引き出しながらその人の生活を支える介護実践方法を理解する。介護職に就くか否かに関わらず、自分の家庭内や身の回りで役立てることができる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 介護の専門性や理念、制度等を理解し体位変換と移動・食事・清潔・排泄といった日常生活動作の基本等も理解した上で有する能力を活用し利用者がその人らしく自立した日常生活を営むことができるように、演習を通して支援技術を学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 利用者の心身の状況に合わせた介護の基本原則を理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>			
	使用教材	出版社	
	介護職員初任者研修テキスト	介護労働安定センター	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 福祉施設での実務経験有り</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
介護技術		43 限	大崎幸司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	介護環境の特徴 介護の専門性	訪問介護サービス、施設介護サービス、地域包括ケアについて理解する 介護職に求められる専門性、職業倫理、介護を必要としている人の個別性について理解する。	
2 限	介護に関わる職種 介護職の職業倫理	チームにおける役割分担、介護に関わる職種の機能と役割について理解する。 法令遵守、利用者の個人の尊厳と介入、日本介護福祉士会倫理綱領について理解する。	
3 限	介護における安全の確保	リスクマネジメントについて理解する	
4 限	緊急時に必要な知識と対応方法	緊急時の対応に必要な知識とその対応方法について理解する。	
5 限	感染症対策	感染症の予防と対策等について理解する。	
6 限	介護職の心身の健康管理	腰痛予防やストレスマネジメント等について理解する。	
7 限	介護におけるコミュニケーション技術	コミュニケーションの意義と目的、役割りについて理解する。 コミュニケーションの手段と技法を理解する。	
8 限	介護におけるコミュニケーション技術	利用者、家族への対応の基礎知識について理解する。	
9 限	介護におけるコミュニケーション技術	様々な障害に応じたコミュニケーションを理解する。	
10 限	介護におけるコミュニケーション技術	記録の重要性を理解する。 報告・連絡・相談の必要性について理解する。	
11 限	家事支援 生活と家事	家事支援とは何かを理解する 支援の内容を理解する	
12 限	生活と家事	掃除・ごみ捨てについて理解する 雑巾を縫う	
13 限	生活と家事	衣服の修繕 洗濯・干す	
14 限	生活と家事	アイロンがけ 快適な居住環境について理解する	
15 限	生活と家事	住宅改修について理解する 福祉用具に関する基礎知識を理解する	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
16 限	はじめに 環境整備	介護技術を身につける上で大切な視点を理解する ベットメイキング要領を理解する（シーツのたたみ方・三角コーナー）
17 限	環境整備	ベットメイキング要領を理解する（四角コーナー・枕・横シーツ） ベットメイキング
18 限	環境整備	ベットメイキング
19 限	環境整備	ベットメイキング
20 限	整容介護	利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ
21 限	整容介護	片麻痺がある場合の着脱方法の原則（脱健着患）を理解する 利用者の状況に応じた着脱介助の方法を体験し学ぶ
22 限	整容介護	清潔を保つ意義・留意点などを理解する
23 限	移動介護	移動の意味・重心・バランスなど動作の基礎知識を理解する
24 限	移動介護	ベット上での移動の方法を学ぶ 端坐位・立ち上げりの介助方法を学ぶ
25 限	移動介護	移乗・車椅子移動の介助方法を学ぶ 移乗・車椅子移動の介助方法を学ぶ
26 限	移動介護	車椅子段差昇降・坂道・エレベーターの乗り降りを学ぶ 車椅子段差昇降・坂道・エレベーターの乗り降りを学ぶ
27 限	食事介助	食事の意義・しくみ・姿勢について理解する 利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ
28 限	食事介助	利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた食事介助の方法を体験し学ぶ
29 限	食事介助	口腔ケアの意義と介助方法を体験し学ぶ 脱水とその予防について理解する
30 限	食事介助	高齢者向きの献立作り

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 限	食事介助	高齢者の食事の調理
32 限	食事介助	高齢者の食事の調理
33 限	排泄介助	排泄介助時の留意点と排泄のしくみを理解する
34 限	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄場所と排泄用具の選択について理解する 利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
35 限	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
36 限	排泄介助	利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ 利用者の状況に応じた排泄介助の方法を体験し学ぶ
37 限	入浴介助	清潔を保つ意義・留意点などを理解する
38 限	入浴介助	足浴の方法を学ぶ 手浴の方法を学ぶ
39 限	入浴介助	ケリーパットの作り方を学ぶ ベット上での洗髪の方法を学ぶ
40 限	入浴介助	清拭の方法を学ぶ シャワー浴の方法を学ぶ
41 限	睡眠	高齢者の睡眠のしくみを理解する
42 限	終末期の介護	終末期とは何かを理解する 高齢者の死に至るパターンとケアの特徴を理解する
43 限	終末期の介護 振り返り	終末期の心理状態を理解する これまでの学習について振り返りする

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 介護実習指導演習	教員名 佐藤 雅子 大富 和弘		
科目時間数 : 8 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 : 1年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 介護実習の全体的な枠組みを理解し、実習に望む心構えをつくとともに、特に実習日誌の書き方等に関わる知識と技術を身に付ける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 介護実習の全体的な枠組み ・実習の望む心構え ・実習日誌の書き方</p> <p>【授業における達成課題】 介護実習における記録物を書く力、福祉専門職としての必要な視点を身に付ける。実習を振り返っての自分自身の課題に気付くことができる</p>			
	使用教材	出版社	
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/>2. レポート 3. <input checked="" type="checkbox"/>出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/>有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 福祉施設での実務経験有り</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
介護実習指導演習		8 限	佐藤雅子・大富和弘
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	実習について	
	記録の書き方	実習日誌やその他の記録について理解する	
2 限	〃	〃	
	事前訪問について	実習前の訪問について	
3 限	課題の作成	それぞれの課題について作成する	
	〃	〃	
4 限	〃	〃	
	実習前の心構え等について	実習に望む上での留意点等の確認	
5 限	実習前の準備	実習日誌等の確認	
	〃	事前学習	
6 限	実習振りかえり	事後学習	
	報告書作成	実習報告書の作成	
7 限	〃	〃	
	報告会	実習報告を行う	
8 限	全体の振り返り	振り返り	
	〃	〃	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	介護実習	教員名	大富和弘
科目時間数 :	18 限	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 実習により必要な技術を習得できるようになるだけでなく、自らの人間性を顧み、福祉の専門職としての人間性を育てる</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 通所、小規模型実習（デイサービス等） ・ 施設、居住型実習（介護老人福祉施設他）</p> <p>【授業における達成課題】 実習先の施設の現状の理解、福祉専門職の仕事について理解する。実習の体験から自らの課題に気付く</p>			
	使用教材		出版社
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他 (実習先施設)</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：実習先での実習評価によりA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 福祉施設での現場経験有り</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
介護実習		18 限	大富和弘
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	介護サービスの理解	実習施設の種別について、制度上の役割を理解する。	
2 限		実習施設での基本的な支援の流れを理解する。	
3 限			
4 限			
5 限			
6 限			
7 限			
8 限			
9 限	利用者とのコミュニケーション	高齢者の生活リズムを理解する。	
10 限		利用者と適切なコミュニケーションをとることができる。	
11 限			
12 限			
13 限			
14 限			
15 限			
16 限			
17 限			
18 限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 コミュニティワーク演習 I	教員名 佐藤雅子		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 · <input checked="" type="checkbox"/> 演習 · 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 : 2年 開講時期 : 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 学生同士が協力し、多様な方法でコミュニティを調査し、理解し、その課題を分析できる力を養う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 行政計画のデータの解析、行政資料の要約、アンケート調査の実施、我が町調査シートの作成など、コミュニティを理解するための多様な方法を取り入れて授業を進める。 ※3年次の「コミュニティワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導」へのつながりを意識する。</p> <p>【授業における達成課題】 ・行政計画・資料等の基礎データから、地域の状況や課題を説明することができる。 ・他学科、学年への量的調査を通じて、アンケート調査票の作成、集計、分析という一連の流れに協力して取り組める。</p>			
	使用教材	出版社	
	教員準備教材を使用		
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
<input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 ()		
【備考】			
評価について：授業態度、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 · 無			
【内容】 社会福祉士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
コミュニティワーク演習 I		15 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の目的、概要を理解する。 授業のスケジュールを確認し、作業分担を行う。	
2 限	数字で見る地域	【講義】「岩手県地域福祉支援計画」の基礎データ	
3 限		【演習】基礎データ解析作業 ・老人福祉計画「いわていきいきプラン」 ・障害者計画「岩手県障がい者プラン」 ・子ども・子育て支援事業計画「いわて子どもプラン」	
4 限			
5 限	家族・地域・職場のつながり	【演習】「国民生活白書」要約作業 ・家族のつながり ・地域のつながり ・職場のつながり	
6 限			
7 限	地域のつながりに関する意識調査①	【講義・演習】「地域のつながりに関する意識調査」の実施 ・テーマ設定 ・調査票の作成 ・作業分担 →他学科、他学年へのアンケート実施	
8 限			
9 限	我が町調査	【講義・演習】「我が町調査」の実施 ・自分の生活する地域を調べる。 ・調査シートを記入する。 (人口、気候の特徴、地理的特徴、産業の特徴、地域の課題、解決策)	
10 限			
11 限	地域のつながりに関する意識調査②	【演習】「地域のつながりに関する意識調査」 ・集計作業	
12 限			
13 限		・分析作業	
14 限	成果報告会①	「地域のつながりに関する意識調査」報告 →意見交換	
15 限	成果報告会②	「我が町調査」報告 →意見交換	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	基礎演習	教員名	佐藤雅子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	3年
		開講時期 :	前期・(後期)・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 災害によって地域が大きく変化した時に、改めて地域の状況をアセスメントし、外部のボランティア等の協力を得ながら、個々の被災者の支援を迅速に行うことが必要となる。これらの一連の流れを理解し、グループで協力して地域アセスメントと個別アセスメントの双方を行う力を身につける。</p>			
<p>【授業全体の内容の概要】 平成23年東日本大震災や平成28年台風10号災害などの実際の過去の災害をベースとして、演習を中心に授業を進める。 特に被災者の個別支援に関しては、ひとつの事例をソーシャルワークの展開過程に沿って深め、ロールプレイや模擬カンファレンスを取り入れる。</p>			
<p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時における地域アセスメントの方法を理解する。 ・ ソーシャルワークの一連の流れの中で、被災者支援の個別アセスメントと支援計画作成を行うことができる。 ・ ボランティアに対して被災者の状況や思いを説明・代弁できる。 			
	使用教材	出版社	
	教員オリジナル教材を使用		
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 (グループワーク)		
【備考】			
評価について：授業態度、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 社会福祉士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
基礎演習		15 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	災害の初期対応の概要	【講義】 災害の対応とボランティアコーディネーター ・東日本大震災後の対応の振り返りから ・ボランティアコーディネーターに求められるもの ・日ごろの地域づくりから災害の対応へ	
2 限	災害ボランティアセンターの活動 【地域アセスメント】	【ワーク①】 災害ボランティアセンターの設置・運営 ～平成28年台風10号災害の被災地をモデルに～ ・KJ法を用いたグループワーク（人・物・金・情報）での整理	
3 限			
4 限		・発表	
5 限	被災者の支援 【個別アセスメント】	【ワーク②】 被災者の支援 ・被災者の生活の変化（避難所→仮設住宅→災害公営住宅） ・演習事例の共有 ・被災者へのヒアリング事項の整理	
6 限		・被災者へのヒアリング事項の整理	
7 限		・被災者へのヒアリング（ロールプレイ）	
8 限		・ジェノグラム、アセスメント表の記入	
9 限		・被災世帯の支援計画の作成	
10 限		・支援計画の共有と話し合い	
11 限		・模擬ケースカンファレンス	
12 限	ボランティアへの対応	【ワーク③】 ボランティアへのオリエンテーション ・ボランティアの役割 ・ボランティアセンター設置運営マニュアルの確認	
13 限		・説明事項の整理・原稿の作成	
14 限		・発表	
15 限	まとめ	全体の振り返りとまとめ	

授業計画表

社会福祉	学科	盛岡医療福祉スポーツ専門学校		
科目名	コミュニティワーク 演習	教員名	大富和弘 佐藤雅子	
科目時間数 :	45	限	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	1年	開講時期 :
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の構成要素について理解する。 ・ 地域をアセスメントするのに必要な調査技術等を体得する。 ・ 地域の状況を客観的に捉え、地域課題や地域実践に関わるテーマを設定し、仮説を立て、調査により検証し、結果を考察することを通して、調査研究のプロセスを理解する。 ・ 地域調査という方法を用いてコミュニティソーシャルワークの下地作りができる能力を涵養する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における生活課題の理解 ・ 調査地域の設定とテーマ検討 ・ 調査方法の理解 ・ 調査計画の作成（テーマ、仮説、調査時期、調査方法、結果分析、資料作成、実施体制） ・ 対象地域の事前学習、先行研究・文献検討 ・ 地域関係者への協力依頼 ・ 事前準備（質問票作成等） ・ 地域での調査実施 ・ 調査結果の分析、資料作成 ・ 調査結果発表会および全体のふりかえり <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、社会福祉士として必要な知識・技術・価値を習得する。</p>				
		使用教材	出版社	
【使用教室】				
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）				
【評価方法】				
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（発表資料の内容によるグループごとの評価）				
【備考】				
上記を勘案して得点化し、A（80点以上）、B（70点以上80点未満）、C（60点以上70点未満）、D（60点未満：不合格）の4段階で評価する。				
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無				
【内容】 福祉調査実務の経験あり。				

科目名	科目時間総数	教員名
コミュニティワーク演習	45 限	大富和弘、佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	オリエンテーション	地域に存在する様々な生活課題を理解し、調査テーマを検討することができる。
2 限	地域調査の必要性	地域調査がどのような形式で行われているか、なぜ調査が必要なのかを説明できる。
3 限		
4 限	調査方法の理解	量的調査および質的調査の具体的な方法について説明できる。
5 限	調査研究のプロセスの理解	研究テーマ設定、テーマの背景となる状況、先行研究検討、調査対象および調査方法設定、調査時期設定、協力依頼、調査実施、結果分析、資料作成といった一連のプロセスを説明できる。
6 限		
7 限	調査テーマの設定と調査計画の策定	調査地域ごとのグループに分かれて調査テーマを設定し、調査計画を策定できる。
8 限	調査テーマに関わる先行調査検討	調査テーマに関連する先行調査や文献を検討し、テーマの背景や参考にする先行調査を明確にできる。
9 限		
10 限		
11 限	一次調査事前準備および調査協力依頼	本調査（二次調査）を行うにあたって必要な情報収集としての一次調査に必要な準備を行える。また、一次調査に協力してもらう方々への依頼と調査の日程調整等も行う。
12 限		
13 限	一次調査の実施	本調査（二次調査）を行うにあたって必要な情報収集を対象地域で実施する。
14 限		
15 限		

科目名		科目時間総数	教員名
コミュニティーワーク演習		45 限	大富和弘、佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
16 限	一次調査の実施	本調査（二次調査）を行うにあたって必要な情報収集を対象地域で実施する。	
17 限	一次調査結果分析		
18 限			
19 限			
20 限			
21 限			
22 限	本調査（二次調査）の枠組みの再検討	一次調査の結果を踏まえて、自分たちが設定した調査テーマや仮説等を見直し、それに応じて本調査（二次調査）の枠組みを再設定する。	
23 限	本調査（二次調査）に向けた先行文献検討および情報収集	調査要素を具体的に設定し、それらを調査するにあたっての適切な手段を検討するために、先行文献とその他の必要と思われる情報を収集できる。	
24 限			
25 限			
26 限			
27 限			
28 限	本調査（二次調査）事前準備および調査協力依頼	本調査（二次調査）に必要な準備（調査票作成等）を行える。また、調査に協力してもらう方々への依頼と調査の日程調整等も行う。	
29 限			
30 限			

科目名	科目時間総数	教員名
コミュニティワーク演習	45 限	大富和弘、佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 限	本調査（二次調査）	対象地域において本調査（二次調査）を行う。 （調査要素に関連する場所や場面の見学・観察、関係者からのヒアリング、調査票の配布または回収等）
32 限		
33 限		
34 限		
35 限		
36 限	調査結果の分析と考察	調査した結果を分析し（集計表やグラフの作成、ヒアリング記録と要約の作成、クロス集計やカテゴリー分類などの2次的作業等）、そこから自分たちが設定した調査テーマや仮説に照らしての考察ができる。
37 限		
38 限		
39 限		
40 限		
41 限	発表資料作成	発表会に向けて調査結果および分析と考察内容をパワーポイントや配布資料として作成できる。
42 限		
43 限		
44 限	発表リハーサル	グループで調査した結果をパワーポイントや資料によってわかりやすく説明することができる。
45 限		
	発表会	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	心理学理論と心理的支援	教員名	畠山 修
科目時間数 :	15 限	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	3
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 人間は発達段階を通して様々なコミュニケーションのもとに人間関係を構築する。また、その過程で障害を負ったり、心理的な負担が生じたときには、自己を守る防衛機制が作動し、ネガティブな人間関係に直結する場合も見受けられる。特に介護福祉士は、障害児から高齢者まで幅広くケアを実践する専門職のため、各発達段階の特徴を理解し、発達段階に応じた適切なコミュニケーションを図っていくことが求められる。本講義では発達心理学の観点から、コミュニケーションと人間関</p> <p>【授業全体の内容の概要】 エリクソンのIdentity&Life cycle理論をもとに、各発達段階の課題の理解を通してコミュニケーションや関わり方の基礎を学ぶ。また、A. フロイドの心理防衛機制を学ぶことで、福祉サービス利用者の心理を理解する。</p> <p>【授業における達成課題】 ・ 障害を持つ人が日常生活で抱える困りごとを、より深い視点で捉えることができる。 ・ 当事者たちの歩みを知ることで、障害者と権利の関係性について理解を深める。</p>			
	使用教材	出版社	
	心理学理論と心理的支援	中央法規	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 (グループワーク)		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）C（69点～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラーの実務経験あり			

科目名		科目時間総数	教員名
心理学理論と心理的支援		15 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス・オリエンテーション	人間関係とコミュニケーションの方向性や目的を確認する	
2 限	人間関係と発達	各発達理論と人間の成長	
3 限	人間関係と発達（2）	エリクソンの社会心理発達理論	
4 限	防衛機制とコミュニケーション	自我防衛機制とフロイドの発達理論を理解できる	
5 限	乳幼児期の発達とコミュニケーション	乳幼児期の発達課題とコミュニケーションの関連性を理解できる	
6 限	児童期・学童期の発達とコミュニケーション	児童期・学童期における発達課題及び、好発される発達障害について理解できる	
7 限	乳幼児期の発達とコミュニケーション	乳幼児期の発達課題とコミュニケーションの関連性を理解できる	
8 限	青年期の発達とコミュニケーション	アイデンティティの確立やモラトリアム型について理解を深め、青年期の危機を乗り越えるための発達課題を理解する	
9 限	成人期・壮年期の発達とコミュニケーション	青年期や壮年期の発達課題を理解し、高齢期を安定して迎えるために必要なライフタスクを学ぶ	
10 限	身体障害の心理とコミュニケーション	身体障害を持つことのボディ・イメージの再構築の重要性を理解できる	
11 限	青年期の発達とコミュニケーション	アイデンティティの確立やモラトリアム型について理解を深め、青年期の危機を乗り越えるための発達課題を理解する	
12 限	知的・発達障害の心理とコミュニケーション	知的障害の分類を理解し、障害別に応じたコミュニケーションの手法を理解できる	
13 限	精神障害の心理とコミュニケーション	精神疾患の分類を理解し、こころの構造を学ぶとともに薬物療法や認知行動療法の重要性を理解する。	
14 限	コミュニケーション概論	コミュニケーションにおける相互作用について理解できる。	
15 限	防衛機制	クライアントの心理防衛機制について理解できる。	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	社会福祉の原理と政策	教員名	佐藤雅子
科目時間数 :	30 限 (60時間)	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 ②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 ③社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 ④福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 ⑤福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 ⑥福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 ⑦福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論。 ②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論、日本の社会福祉の特性。 ③社会問題と社会構造の関係の視点、現代の社会問題。 ④福祉政策を捉える基本的な視点としての概念や理念、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程。 ⑤福祉政策の動向と課題、関連施策や包括的支援。 ⑥福祉サービスの供給と利用の過程。 ⑦福祉政策の国際比較の視点、日本の福祉政策の特性。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉士として必要な知識を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座	社会福祉の原理と政策	中央法規出版	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 社会福祉士としての実務経験あり</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉の原理と政策		30 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	社会福祉の原理	○社会福祉の原理を学ぶ視点 ・社会福祉の歴史、思想・哲学、理論、 ・社会福祉の原理と実践・社会福祉学の構造と特徴	
2 限	社会福祉の歴史	○社会福祉の歴史を学ぶ視点 ・歴史観、政策史、実践史、発達史、時代区分 ・日本と欧米の社会福祉の比較史の視点	
3 限		○日本の社会福祉の歴史的展開 ・慈善事業、博愛事業 ・社会事業	
4 限		・社会福祉事業 ・社会福祉	
5 限		○欧米の社会福祉の歴史的展開 ・救貧法 ・慈善事業、博愛事業	
6 限		・社会事業、社会保険 ・福祉国家、福祉社会 ・国際的潮流	
7 限		社会福祉の思想・哲学、理論	○社会福祉の思想・哲学 ・社会福祉の思想・哲学の考え方 ・人間の尊厳
8 限	・社会正義 ・平和主義 等		
9 限	○社会福祉の理論 ・社会福祉の理論の基本的な考え方 ・戦後社会福祉の展開と社会福祉理論		
10 限	・社会福祉の理論（政策論、技術論、固有論、統合論、運動論、経営論） ・欧米の社会福祉の理論		
11 限	○社会福祉の論点 （公私関係、効率性と公平性、普遍主義と選別主義、自立と依存、自己選択・自己決定とパターナリズム、参加とエンパワメント、ジェンダー、社会的承認）		
12 限	○社会福祉の対象とニーズ ・ニーズと需要の概念 ・社会福祉の対象とニーズ ・ニーズの種類と次元 ・ニーズの理論とその課題		
13 限	社会問題と社会構造	○現代における社会問題 （貧困、孤立、失業、要援護性、偏見と差別、社会的排除、ヴァルネラビリティ、ニューリスク、依存症、自殺）	
14 限		○社会問題の構造的背景 （・低成長経済、グローバル化、少子高齢化、人口減少社会、格差、貧困、社会意識・価値観の変化）	
15 限	福祉政策の基本的な視点	○福祉政策の概念・理念 ・現代の社会問題と福祉政策 ・福祉政策の概念・理念	

16 限		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉政策と社会保障、社会政策 ・福祉レジームと福祉政策
17 限	福祉政策における ニーズと資源	<ul style="list-style-type: none"> ○ニーズ ・種類と内容 ・把握方法
18 限		<ul style="list-style-type: none"> ○資源 ・種類と内容 ・把握方法 ・開発方法
19 限	福祉政策の構成要素と過程	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉政策の構成要素 ・福祉政策の構成要素とその役割・機能 ・政府、市場（経済市場、準市場、社会市場）、事業者、国民（利用者を含む）
20 限		<ul style="list-style-type: none"> ・措置制度 ・多元化する福祉サービス提供方式
21 限		<ul style="list-style-type: none"> ○福祉政策の過程 ・政策決定、実施、評価 ・福祉政策の方法・手段
22 限		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉政策の政策評価・行政評価 ・福祉政策と福祉計画
23 限	福祉政策の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉政策と包括的支援 ・社会福祉法 ・地域包括ケアシステム
24 限		<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会 ・多文化共生 ・持続可能性（SDGs 等）
25 限	福祉政策と関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ○関連政策 （保健医療政策、教育政策、住宅政策、労働政策、経済政策）
26 限	福祉サービスの供給と利用過程	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉供給部門 ・公的部門（政府・地方公共団体） ・民間部門（営利・非営利）、ボランティア部門、インフォーマル部門 ・部門間の調整・連携・協働
27 限		<ul style="list-style-type: none"> ○福祉供給過程 ・公私（民）関係 ・再分配、割当
28 限		<ul style="list-style-type: none"> ・市場、準市場 ・福祉行財政、福祉計画 ・福祉開発
29 限		<ul style="list-style-type: none"> ○福祉利用過程 ・スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ
30 限	福祉政策の国際比較	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉政策の国際比較 ・国際比較の視点と方法 ・福祉政策の類型（欧米、東アジア等）

科目名		科目時間総数	教員名
ソーシャルワークの基盤と専門職		15 限	阿部孝司
コマ数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	社会福祉士の役割と意義	自己紹介 現代社会と地域生活について学ぶ	
	〃	現代社会と地域生活について学ぶ	
2 限	〃	現代社会と地域生活について学ぶ	
	ソーシャルワーク専門職の法的な位置づけ	社会福祉士の役割と意義について学ぶ	
3 限	〃	社会福祉士の役割と意義について学ぶ	
	〃	社会福祉士の役割と意義、精神保健福祉士の役割と意義について学ぶ	
4 限	〃	社会福祉士の役割と意義、精神保健福祉士の役割と意義について学ぶ	
	〃	社会福祉の基本的語句について学ぶ	
5 限	ソーシャルワークの概念	ソーシャルワークの概念について学ぶ	
	〃	国際ソーシャルワーカー連盟の定義について学ぶ	
6 限	〃	その他の主だった定義について学ぶ	
	〃	ソーシャルワークの構成要素について学ぶ	
7 限	〃	ソーシャルワークの構成要素について学ぶ	
	〃	社会資源マップ(エコマップ)の作成方法について学ぶ	
8 限	ソーシャルワークの基盤となる考え方	ソーシャルワークの源流について学ぶ	
	〃	ソーシャルワークの源流について学ぶ	
9 限	ソーシャルワークの形成過程	ソーシャルワーク基礎確立期について学ぶ	
	〃	ソーシャルワーク基礎確立期について学ぶ	
10 限	〃	世界恐慌・大不況とソーシャルワークについて学ぶ	
	〃	ソーシャルワークの発展期について学ぶ	
11 限	〃	ソーシャルワークの発展期について学ぶ	
	〃	日本での発展期について学ぶ	
12 限	〃	ソーシャルワークの展開期について学ぶ	
	〃	ソーシャルワークの展開期について学ぶ	
13 限	〃	日本の動向について学ぶ	
	〃	ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワークについて学ぶ	
14 限	〃	ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワークについて学ぶ	
	〃	ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワークについて学ぶ	
15 限	ビデオ学習	ソーシャルワークの事例についてビデオ学習で学ぶ	
	前期のまとめ	前期の授業の振り返り	

科目名		科目時間総数	教員名
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）		15	阿部孝司
コマ数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ソーシャルワークの倫理	ソーシャルワーカーと価値について学ぶ	
	〃	ソーシャルワーカーと価値について学ぶ	
2 限	〃	ソーシャルワーク実践と価値について学ぶ	
	〃	ソーシャルワーク実践と価値について学ぶ	
3 限	〃	ソーシャルワーク実践と権利擁護について学ぶ	
	〃	ソーシャルワーク実践と権利擁護について学ぶ	
4 限	ソーシャルワークの倫理Ⅱ	クライアントの尊厳と自己決定について学ぶ	
	〃	クライアントの尊厳と自己決定について学ぶ	
5 限	〃	ノーマライゼーションと社会的包摂について学ぶ	
	〃	ノーマライゼーションと社会的包摂について学ぶ	
6 限	専門職倫理と倫理的ジレンマ	専門職倫理の概念について学ぶ	
	〃	倫理綱領の意義と内容について学ぶ	
7 限	〃	倫理綱領の意義と内容について学ぶ	
	〃	倫理綱領の活用事例について学ぶ	
8 限	〃	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマについて学ぶ	
	〃	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマについて学ぶ	
9 限	総合的かつ包括的なソーシャルワークの全体像	「総合的かつ包括的なソーシャルワーク」の動向とその背景について学ぶ	
	〃	「総合的かつ包括的なソーシャルワーク」の動向とその背景について学ぶ	
10 限	〃	地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座について学ぶ	
	〃	地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座について学ぶ	
11 限	総合的かつ包括的な支援と多職種連携	地域を基盤としたソーシャルワークの八つの機能について学ぶ	
	〃	ジェネラリストソーシャルワークの意義と基本的視点について学ぶ	
12 限	〃	ジェネラリストソーシャルワークの特質について学ぶ	
	〃	ジェネラリストソーシャルワークの特質について学ぶ	
13 限	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲	相談援助専門職の概念について学ぶ	
	〃	相談援助専門職の範囲について学ぶ	
14 限	ビデオ学習	ソーシャルワークの実際についてビデオ学習で学ぶ	
	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能	「総合的かつ包括的な相談援助」における専門的機能の展開を学ぶ	
15 限	後期のまとめ	後期の授業の振り返り	
	一年の授業のまとめ	一問一答テスト(確認テスト)	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	地域福祉と包括的支援	教員名	大冨和弘
科目時間数 :	30	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	(前期)・(後期)・集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉の基本的考え方について理解する。 ・ 地域福祉の主体と対象について理解する。 ・ 地域福祉に係る組織、団体および専門職の役割について理解する。 ・ 地域福祉におけるネットワークの意義と方法及びその実際について理解する。 ・ 地域福祉の推進方法について理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉の基本的考え方 ・ 地域福祉の主体と対象 ・ 地域福祉に係る組織、団体および専門職や地域住民 ・ 地域福祉の推進方法 <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、社会福祉士として必要な知識を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座	地域福祉の理論と方法	中央法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】	上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。		
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 社会福祉士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
地域福祉と包括的支援		30	大富和弘
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	オリエンテーション	地域福祉の概要と位置づけについて	
2	新しい社会福祉システム	地域福祉の発展過程、欧米や日本における地域福祉の発展過程を理解する	
3		社会福祉の基礎構造改革の重要性と地域福祉の推進との関りを学ぶ	
4		少子高齢化社会と地域福祉のあり方を理解する	
5		地域福祉の新しい役割、行政と住民の協働について学ぶ	
6	地域福祉の基本的な考え方	地域福祉の構成要素、地域福祉推進の原理を理解する	
7		地域福祉に関する理論的な発展の経過を知る	
8		地域自立生活支援と地域福祉の理念について理解する	
9	地域福祉の主体と福祉教育	地域の捉え方と福祉圏域設定の考え方を理解する	
10		地域福祉の推進における福祉教育の重要性を学ぶ	
11	行政組織と民間組織の役割と実際	福祉教育の概念と内容について理解する	
12		地方分権化地域福祉計画の内容と課題を理解する	
13		社会福祉協議会、社会福祉法人の役割を学ぶ	
14	コミュニティソーシャルワークと専門職の役割	NPO法人、民生委員等の役割について学ぶ	
15		コミュニティソーシャルワークの考え方、概念、課題についての理解する	
16		サービスとニーズの接近性を高めるシステムと、専門職の配置、役割について学ぶ	
17		コミュニティソーシャルワークの基本的な展開プロセスを理解する	
18		地域アセスメント、ケアマネジメント、サポートネットワークによる具体的な支援体制の構築についての理解	
19		専門多職種によるチームアプローチによる協働体制、住民・利用者とのパートナーシップについての理解	
20		住民と街づくりを支えるコミュニティソーシャルワーカーの役割を学ぶ	
21	住民の参加と方法	前期のまとめ	
22		地域福祉推進における住民参加の意義と役割を理解する	
23		市町村社会福祉行政における住民参加の方法、参加の形態、参加のレベルについて学ぶ	
24	ソーシャルサポートネットワーク	ソーシャルサポートネットワークの考え方について学ぶ	
25		ソーシャルサポートの多面性とコミュニティソーシャルワーカーの役割について理解する	
26	地域における社会資源の活用・調整・開発	フォーマルな社会資源とインフォーマルな社会資源の理解	
27		社会資源の内容や特徴について学ぶ	
28		社会資源の活用とコーディネートの意義、方法等について学ぶ	
29		社会資源としての福祉サービスの開発、サービス供給組織の開発、街づくりとソーシャルアクションの理解	

20 限	地域福祉演習	班に分かれて盛岡市街地での地域活動案の企画
21 限		地域活動対象地区の实地調査
22 限		調査結果を踏まえて、地域活動のアイデアに関する資料作成
23 限		班ごとに地域活動案の発表
24 限	地域における福祉ニーズの把握方法と実際	福祉ニーズ把握の視点、留意点を学ぶ
25 限		アウトリーチの意義について学ぶ
26 限	地域トータルケアシステムの構築と実際	質的、量的な福祉ニーズの把握方法について学ぶ
27 限		地域トータルケアシステムの必要性と課題について学ぶ
28 限		福祉の連携の重要性を理解する
29 限	地域における福祉サービスの評価方法と実際	地域トータルケアシステムの事例を学ぶ
30 限		ソーシャルケア従事者の研修と組織化について学ぶ
31 限		評価を必要とする背景を学ぶ
32 限		サービス提供者とサービス利用者にとっての評価の意義、評価システムの必要性を学ぶ
33 限	海外の地域福祉	サービス評価の概要と評価の方法を学ぶ
34 限		福祉サービスのプログラム評価とその展開を理解する
35 限	海外の地域福祉	イギリス、アメリカのソーシャルワークの特徴と展開
36 限		後期のまとめ・レポート提出

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	障害者福祉	教員名	高橋正之
科目時間数 :	15	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	前期・(後期)・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 ①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。②障害者福祉の歴史と障害者観の変遷、制度の発展過程について理解する。③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。④障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ①テキスト及び視聴覚教材を用いた講義 ②ソーシャルワークを用いた障害者に対する支援のあり方についてのワーク</p> <p>【授業における達成課題】 障害者福祉の発展過程を踏まえた障害者や家族の生きづらさの理解を深めながら、法制度の理解とフォーマル・インフォーマルな社会資源の在り方と、支援のネットワークの必要性について理解を深める</p>			
	使用教材	出版社	
	障害者福祉	中央法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：筆記試験、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 福祉施設での実務経験有り			

科目名		科目時間総数	教員名
障害者福祉		15 限	高橋正之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	障害概念と特性	国際生活機能分類（ICIDHからICFへ、ICFの構造）	
2 限	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境	障害者の生活実態（地域移行・居住・修学、就労・高齢化・介護需要・障害者の芸術、スポーツ）	
3 限		障害者を取り巻く社会環境（バリアフリー・コンフリクト・障害者虐待・親なき後問題、きょうだいへの支援）	
4 限	障害者福祉の歴史	障害者福祉の理念（ノーマライゼーション・ソーシャルインクルージョン）	
5 限		障害者観の変遷（偏見と差別、障害者の権利条約批准の経緯・障害者基本法の変遷）	
6 限		障害者処遇の変遷	
7 限	障害者に対する法制度	障害者総合支援法（障害者総合支援法の概要、障害福祉サービス及び相談支援・障害支援区分及び支給決定・自立支援医療・補装具・地域生活支援事業・障害福祉計画）	
8 限			
9 限			
10 限		身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法・児童福祉法・発達障害者支援法（法の概要・措置制度等）	
11 限		障害者虐待防止法・障害者差別解消法（法の概要）	
12 限		バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達推進法（法の概要）	
13 限	障害者と家族の支援における関係機関と専門職の役割	障害者と家族等の支援における関係機関の役割 関連する専門職の役割	
14 限	障害者と家族等に対する支援の実際	障害領域における社会福祉士の役割	
15 限		障害者と家族等に対する支援の実際	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 児童・家庭福祉	教員名 赤羽 哲朗		
科目時間数 15	授業の種類 ： 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 ： 必修 ・ 選択	配当学年 ： 3年	開講時期 ： 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの権利や子ども家庭福祉の概念など、子ども家庭福祉の基本的内容を理解する。 ・ 子ども家庭福祉の歴史や発展過程について理解する。 ・ 子ども家庭福祉に関わる制度政策や制度等が運用される際の課題等について理解する。 ・ 子ども家庭福祉の各実践領域における福祉課題や支援の実際について理解する。 ・ 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践について理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>1 子どもの権利、子どもの生命と発達、子どもと家庭・地域 2 子ども家庭福祉の概念、歴史と発展のプロセス 3 子ども家庭を取り巻く社会環境や子どもの育ち・子育てへの影響 4 子ども家庭福祉の法体及び実施体制、関係機関・施設と利用方式、財源と費用負担 5 子ども家庭福祉の人材と専門職 6 子育て支援施策の展開と子ども・子育て支援制度の意義 7 母子保健 8 保育制度 9 要保護児童の施策と在宅支援 10 児童虐待に関わる支援及び社会的養護 11 ひとり親家庭への支援 12 ドメスティックバイオレンスと女性支援 13 スクールソーシャルワーク 14 少年非行及び若者支援 15 障害のある子どもへの支援 16 子ども家庭福祉におけるソーシャルアクション 17 子ども家庭福祉におけるソーシャルワークの実際 18 子ども家庭福祉の各領域におけるソーシャルワークの取組み</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該科目について、社会福祉士として必要な基本的知識を習得する。 ・ 子どもの権利について理解を深め、子どもの人権尊重を基本に据えた子ども家庭福祉のさまざまな領域におけるソーシャルワーク実践について学ぶ。 			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座	児童と家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	中央法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ テキストに準拠した資料を作成・配布し、専門用語の意味や法令等の根拠を補足説明するとともに、関連の新聞報道等を紹介し、自らに身近なものとして授業の理解を深めるための一助とする。 ・ 現実社会の動向に積極的に関心を向け、より幅広い視点で対象者のニーズや援助のあり方を捉え、具体的実践につなげる姿勢を持つ。 			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】 児童相談所、福祉事務所、障害者施設等での実務経験			

科目名 児童・家庭福祉		科目時間総数 15 限	教員名 赤羽 哲朗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1	子どもの権利、子どもの生命と発達、子どもと家庭・地域	人権思想の広がりや児童の権利条約に通底する子ども観、子どもの権利の特徴等について理解する。	
	同上	同上	
2	子ども家庭福祉の概念、歴史	子どもの権利保障の確立に至る歴史的経過や現代における子ども家庭福祉のあり方について理解する。	
	同上	同上	
3	社会環境と子どもの育ち・子育てへの影響	子どもや家庭を取り巻く社会環境や子育て・子育てへの影響について理解する。	
	法体及び実施体制	子ども家庭福祉の法体系や実施体制について理解する。	
4	関係機関・施設と利用方式	子ども家庭福祉に関わる関係機関・施設、サービスの利用方式について理解する。	
	財源と費用負担	子ども家庭福祉の財源や費用負担の仕組みについて理解する。	
5	人材と専門職	子ども家庭福祉の行政機関、施設の役割や専門職の仕組みについて理解する。	
	子育て支援施策の展開	子育て支援施策の展開の家庭や取組の計画的推進について理解する。	
6	母子保健	母子保健施策の概要や近年の動向について理解する。	
	保育制度	保育制度の変遷や現行制度の概要、今後の課題等について理解する。	
7	要保護児童の施策と在宅支援	要保護児童の在宅支援の現状や取組のポイントについて理解する。	
	同上	同上	
8	児童虐待に関わる支援	児童虐待の定義や現状、対応の仕組み、地域のネットワークによる支援について理解する。	
	社会的養護	社会的養護の概要や近年の動向、権利擁護の取組等について理解する。	
9	ひとり親家庭への支援	ひとり親家庭の現状や支援のあり方等について理解する。	
	ドメスティックバイオレンスと女性支援	女性福祉と児童福祉の関わり、DVの現状や対応、DVの子どもへの影響について理解する。	
10	スクールソーシャルワーク	子ども家庭・学校を取り巻く課題とスクールソーシャルワークの取組について理解する。	
	少年非行及び	非行少年への支援について理解する。	
11	若者支援	若者支援の状況について理解する。	
	障害のある子どもへの支援	障害者の概念や定義、障害のある子どもへの支援について理解する。	
12	子ども家庭福祉におけるソーシャルアクション	ソーシャルアクションの意義や地域のニーズを踏まえた社会資源の創出の取組等について理解する。	
	ソーシャルワークにおける支援の端緒、調査及びアセスメント	ソーシャルワークにおける支援の端緒、調査及びアセスメントについて理解する。	
13	支援の展開過程と連携	ソーシャルワークにおける支援の展開過程と連携について理解する。	
	子ども家庭福祉におけるソーシャルワークの実際	子ども家庭福祉の各領域におけるソーシャルワークの実際について学ぶ。	
14	同上	同上	
	同上	同上	
15	同上	同上	
	同上	同上	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	貧困に対する支援	教員名	西山優佳
科目時間数 ：	15 限	授業の種類 ：	講義・演習・実習
必修・選択の別 ：	必修・選択	配当学年 ：	2年
		開講時期 ：	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①貧困や公的扶助の概念を踏まえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について理解する。</p> <p>②貧困の歴史と貧困観の変遷について理解する。</p> <p>③貧困に係る法制度と支援の仕組みについて理解する。</p> <p>④貧困による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①貧困や公的扶助の概念、貧困状態にある人の生活実態と取り巻く社会環境。</p> <p>②貧困の歴史と貧困観の変遷。</p> <p>③貧困に係る法制度と支援の仕組み。</p> <p>④貧困による生活課題、社会福祉士としての適切な支援のあり方。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について社会福祉として必要な知識と技術を習得する</p>			
		使用教材	出版社
新社会福祉士養成講座		貧困に対する支援	中央法規出版
【使用教室】			
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
評価について：筆記試験は60点以上を合格とする。A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 福祉施設での現場経験有り			

科目名		科目時間総数	教員名
貧困に対する支援		15限	西山 優佳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	貧困の概念	○貧困の概念 ・絶対的貧困、相対的貧困、社会的排除、社会的孤立 等	
2 限		○公的扶助の意義と範囲 ・公的扶助の意義（生存権、セーフティーネット、ナショナルミニマム） ・公的扶助の範囲（狭義、広義）	
3 限	貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境	○貧困状態にある人の生活実態 ・健康 ・居住 ・就労 ・教育 ・社会関係資本 ○貧困状態にある人を取り巻く社会環境 ・経済構造の変化 ・家族、地域の変化	
4 限	貧困の歴史	○貧困状態にある人に対する福祉の理念 ・人権の尊重 ・尊厳の保持 ・貧困、格差、差別の解消	
5 限		○貧困観の変遷 ・スティグマ ・貧困の測定 ・貧困の発見	
6 限		○貧困に対する制度の発展過程 ・救貧制度（日本、諸外国） ・生活保護法 ・ホームレス自立支援法 ・生活困窮者自立支援法 ・子どもの貧困対策の推進に関する法律	
7 限		○生活保護法 ・生活保護法の原理原則と概要 ・生活保護制度の動向 ・最低生活費と生活保護基準 ・福祉事務所の機能と役割 ・相談支援の流れ ・自立支援、就労支援の考え方と自立支援プログラム ・生活保護施設の役割	
8 限	貧困に対する法制度	○生活困窮者自立支援法 ・生活困窮者自立支援法の理念と概要 ・生活困窮者自立支援制度の動向 ・自立相談支援事業と任意事業 ・生活困窮者自立支援制度における組織と実施体制 ・相談支援の流れ	
9 限		○低所得者対策 ・生活福祉資金貸付制度 ・無料低額診療所 ・無料低額宿泊所 ・求職者支援制度 ・法律扶助 ・低所得者への住宅政策と住居支援	
10 限		○ホームレス対策 ・ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法の概要 ・ホームレスの考え方と動向 ・ホームレス支援施策	
11 限		○貧困に対する支援における公私の役割関係 ・行政の責務	
12 限		○福祉事務所の役割 ・福祉事務所の組織	
13 限	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割	○その他の貧困に対する支援における関係機関の役割 ・社会福祉協議会	
14 限	貧困に対する支援の実際	○関連する専門職等の役割 ・精神保健福祉士、医師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士	
15 限		○社会福祉士の役割 ○貧困に対する支援の実際（多職種連携を含む） ・生活保護制度及び生活保護施設における自立支援、就労支援、居住	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	医学概論	教員名	菊池要子
科目時間数 :	15 限 (30時間)	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修 ・ 選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 ②人の身体構造と心身機能について理解する。 ③健康・疾病の捉え方について理解する。 ④疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解する。 ⑤公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①人のライフステージにおける心身の変化と健康課題を学ぶ。 ②身体構造と心身機能について学び、健康・疾病・障害の概念を学ぶ。 ③国際生活機能分類（ICF）などの健康と障害を地域や文化的視点を踏まえた包括的視点を持つ。 ④環境保健や公衆衛生、医療制度を理解できる。 ⑤保健医療分野の専門職の業務内容を理解することで、病者や家族、地域住民のニーズを把握し、多職種・多機関連携を図る事ができる。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、社会福祉士として必要な知識を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座	医学概論	中央法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】	上記を勘案して得点化し、A（80点以上）、B（70点以上80点未満）、C（60点以上70点未満）、D（60点未満：不合格）の4段階で評価する。		
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 看護師として、病院や福祉施設にて実務経験有り			

科目名		科目時間総数	教員名	
医学概論		15 限	菊池要子	
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	ライフステージにおける心身の変化と健康課題	○ライフステージにおける心身の特徴 ○心身の加齢・老化		
2 限		○ライフステージ別の健康課題 (乳幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、前期高齢期、後期高齢期)		
3 限	健康及び疾病の捉え方	○健康と疾病の概念		
4 限		○国際生活機能分類 (ICF) 国際生活機能分類 (ICF) の概要 (コーディング、活用事例を含む)		
5 限	身体構造と心身機能	○人体部位の名称		
6 限		○器官系と臓器の役割		
7 限	疾病と障害の成り立ち及び回復過程	○疾病の発生原因 (外的要因・内的要因)		
8 限	リハビリテーションの概要と範囲	○リハビリテーションの定義・目的		
9 限		○リハビリテーションの対象・方法		
10 限	疾病と障害および予防・治療・予後	○感染症		
11 限		○神経疾患、認知症、高次脳機能障害 ○脳血管疾患		
12 限		○心疾患 ○内分泌・代謝疾患 ○呼吸器疾患 ○腎・泌尿器疾患		
13 限		○消化器・肝胆膵疾患 ○骨・関節の疾患 ○血液・免疫・アレルギー疾患		
14 限		○眼科疾患・視覚障害、耳鼻咽喉疾患・聴覚障害・平衡機能障害、 口腔疾患、婦人科・産科、精神疾患・精神障害・発達障害、小児科疾患・肢体不自由・知的障害、高齢者に多い疾患、生活習慣病・内部障害、悪性腫瘍と緩和ケア		
15 限		公衆衛生	○公衆衛生の概要 ○健康増進と保健医療対策	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会学と社会システム	教員名 菊池 裕生		
科目時間数 : 15 限 (30時間)	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 多様なまなざしで社会事象をとらえる目を養い、かつ、とらえどころの難しい「社会」をとらえる視点を身につけることで、多様で多層的な理解のもと様々な可能性を想定してニーズに対応できるソーシャルワーカーとなることを目指す。</p> <p>【社会福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 多様な対象者のニーズについて、適切に「聴く・伝える・つなげる」力を育む 2. 支援に関わる関係者とのネットワーク構築にむけて、積極的に行動し、自ら働きかける力を育む 3. 身近な地域生活における生活課題に関心を持ち、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ①社会的なものを見方を理解する ②社会を「システム」として理解することを学ぶ ③現代のコミュニティの特性を理解する ④ジェンダーについて学び、性差別について理解する ⑤カゾクとは何かをあらためて問い、その現代における実態を把握する ⑥少子高齢化にともなう人口減社会の実態とその影響について理解する</p> <p>【授業における達成課題】 ・多層的・多面的に社会を捉えられるようになる。 ・社会集団としてのコミュニティの現代的特性について説明できるようになる。 ・ジェンダーが問いかける社会的・現代的な意味について自分なりの意見を持つ。 ・多様化する家族について視野を広げ、多角的に家族を支援できるようになる。 ・少子高齢化の要因を理解し、未来社会を思い描くことができる。</p>			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座	社会学と社会システム	中央法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 大学等での非常勤講師経験。			

科目名		科目時間総数	教員名
社会学と社会システム		15 限	菊池 裕生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	イントロダクション	<ul style="list-style-type: none"> この科目を受講することで、何が分かり、何を身につけることができるのかの見通しがもてるようになる。 	
	第1回 社会学とは何か？	<ul style="list-style-type: none"> 「自明性」を疑うことによって、どんな利点があるのかを理解できるようになる。 	
2 限	第2回 社会学の分析対象	<ul style="list-style-type: none"> 「現実」を多面的・多層的に見るとはどのようなことなのか、その意義とともに理解できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 社会学が、社会（集団）、自己、相互行為を具体的分析対象としていることを理解する。 	
3 限		<ul style="list-style-type: none"> 「社会」とはなにかを説明できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 理念型としての社会集団が備えている3つの特性を挙げられるようになる。 ウェーバーの行為の四類型をそれぞれ説明できるようになる。 	
4 限		<ul style="list-style-type: none"> 自己とは何か、一言で説明できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 社会化とは何か、説明できるようになると同時に、その重要性を理解できるようになる。 なぜ社会を「システム」としてとらえるのか、その理由を説明できるようになる。 	
5 限	第3回 現代社会はどのように成立したのか	<ul style="list-style-type: none"> 科学革命により、科学的・合理的思考へと変化していった過程を理解できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 市民革命により、民主主義国家が成立していった経緯を理解できるようになる。 	
6 限		<ul style="list-style-type: none"> 都市化した社会の特徴の一つ以上説明できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> コント、スペンサーの社会変動論をすべて列挙できるようになる。 デュルケームの社会変動論の類型を列挙し、その内容を説明できるようになる。 	
7 限	第4回 ジェンダーとは何か	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーの定義を暗唱できるようになる。 性差別の現状を、演習を通じ実感する。 性差別とは何かを説明できるようになる。 性差別が生じる要因を説明できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 性的マイノリティをめぐる問題について、一つ以上説明できるようになる。 	
8 限		<ul style="list-style-type: none"> 性を分ける（「性別」を定める）ことが困難な社会になっていることを理解できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 現代社会におけるジェンダーの意味について自分なりの意見を持つようになる。 達成度チェックテストにより、知識を定着させる。 	
9 限	第5回 家族とは何か	<ul style="list-style-type: none"> 演習を通じ、「カゾク」を定義づける困難さに気づく。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 「家族」と「世帯」の違いを説明できるようになる。 家族を「世帯」と捉えることによって見えてくる、日本の家族の現代的特徴を数値とともに説明できるようになる。 現代の家族のはらむ危険性について、世帯構成の変化から説明できるようになる。 	
10 限		<ul style="list-style-type: none"> 「近代家族」の特徴三つを説明できるようになる。 現代家族の源流と言える「近代家族」以前の家族の様子を想像できるようになる。 家族の対社会的機能を説明できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 家族の対個人的機能4つをすべて挙げられるようになる。 家族が必要とされている理由を、対社会的側面、及び対個人的側面からそれぞれ説明できるようになる。 単婚家族に限定されない新しい家族の形について、自分なりの意見を持つ。 達成度チェックテストにより、知識を定着させる。 	
11 限	第6回 現代社会の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 現在の日本が人口減少社会であることを、データから理解できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 現在多くの道府県が「少産多死+流出超過」社会となっていることを、データから理解できるようになる。 	
12 限		<ul style="list-style-type: none"> 少子化の現状をデータから理解した上で、少子化の原因を説明できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 達成度チェックテストにより、知識を定着させる。 	
13 限	まとめ（補論）		
		達成度テスト	
14 限	達成度テスト	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験の実施 	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 権利擁護を支える法制度	教員名 関谷揚子		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 : 2年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助活動と法の関わりについて理解する ・ 相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する ・ 成年後見制度の実際について理解する ・ 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助活動と法（日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む）との関わり ・ 成年後見制度 ・ 日常生活自立支援事業 ・ 成年後見制度利用支援事業 ・ 権利擁護に係る組織、団体の役割と実際 ・ 権利擁護活動の実際 <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、社会福祉士として必要な知識を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
	ヘルスサイエンスのための基本統計学 第3版	南山堂	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他（ ）</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：筆記試験、及び出席率、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>			
<p>【内容】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
権利擁護を支える法制度		15 限	関谷揚子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	日本国憲法の理解	特に「基本的人権」について理解を深める 新しい人権・幸福追求権・自己決定権についても学ぶ	
2 限	行政法の理解	行政の立場と福祉の分野の相互関係について学ぶ。行政事件の訴訟や不服申立制度を過去の判例から理解する	
3 限			
4 限	民法の理解	基本的分野の理解とともに近年問題となっている契約・不法行為についての理解を深める	
5 限			
6 限	成年後見制度	概要を理解する この制度の基本理念を知り、なぜこの制度か現在必要なのか 後見人の仕事（できることとできないこと） 法廷後見制度と任意後見制度との違い 成年後見人の義務と責任 この制度の最近の動向と課題を学ぶ	
7 限			
8 限			
9 限			
10 限			
11 限	権利擁護に関わる組織・団体について		
12 限	専門職について		
13 限	活動の実際		
14 限	活動の実際	事例を取り上げ各々について考える	
15 限	法制度利用支援事業	現状さらには今後の課題を考える	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	高齢者福祉	教員名	西山優佳
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 高齢者支援は時代を超えても変わらない普遍的な部分と時代や状況に応じて変わる流動的な部分がある。通年の講義で支援に必要な普遍的要素を見出すとともに関連する文献等を併せて学ぶことで時代や状況に応じ柔軟にそれらを応用する力をつけることをねらいとする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢・福祉や介護需要 ・ 高齢者福祉の関連法規 ・ 介護保険制度 ・ 介護の方法論 <p>【授業における達成課題】 当該科目において、社会福祉士として必要な知識を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
	高齢者に対する支援と介護保険制度	中央法規	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
筆記試験は60点以上を合格とする			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 福祉施設での現場経験有り			

科目名		科目時間総数	教員名
高齢者福祉		15 限	西山優佳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	高齢者の特性	高齢者を社会的に理解する 高齢者を身体的に理解する 高齢者を精神的に理解する 高齢者を総合的に理解する	
2 限	少子高齢化と高齢者	少子高齢社会と社会的問題を理解する 高齢者を取り巻く諸問題について理解する	
	高齢者支援の関係法規	高齢者保健福祉の法体系について理解する 老人福祉法を理解する 高齢者の医療の確保に関する法律を理解する 高齢者虐待防止法を理解する その他の関係法規を理解する	
3 限	介護保険制度の基本的枠組み	介護保険制度の全体像を理解する 介護保険制度の目的と理念を理解する 保険財政について理解する 保険者と被保険者について理解する	
4 限	介護保険制度のしくみ	要介護認定のしくみとプロセスを理解する 保険給付について理解する 介護報酬について理解する 地域支援事業について理解する 介護保険事業計画について理解する サービスの質を確保するためのしくみについて理解する	
5 限	介護保険サービスの体系	介護保険サービスにおける専門職の役割を理解する 居宅サービスについて理解する 施設サービスについて理解する 介護予防サービスについて理解する 地域密着型サービスについて理解する	
6 限	高齢者を支援する専門職	専門職の役割と実際について理解する 専門職による協働について理解する 専門職の倫理について理解する	
	まとめ		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
7 限	介護各論②	認知症ケアについて理解する 〃 終末期ケアについて理解する 〃 住環境について理解する
8 限	介護各論①	自立に向けた介護について理解する 身支度・移動・睡眠の介護について理解する 〃
9 限		食事・口腔衛生について理解する 〃 入浴・清潔・排泄について理解する 〃
10 限	介護の概念・対象	介護の概念と範囲について理解する 〃 介護の理念について理解する 〃
11 限		介護の対象について理解する 〃 介護予防の概念について理解する 〃
12 限	介護過程	介護過程の概要について理解する 〃 介護過程の展開技法について理解する 〃
13 限	事例検討①	老人ホームに入りたいと相談にきた事例
	事例検討②	単身認知症高齢者の老人ホーム入所事例
14 限	近未来の高齢者福祉課題	高齢者の福祉課題について理解する
15 限	まとめ	全体のまとめ

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	社会福祉調査の基礎		教員名	佐藤 雅子	
科目時間数 :	15	限	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 :	必修・選択		配当学年 :	2年	
			開講時期 :	前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 社会調査の基礎的知識・技術を学び、実践できるようになることを目的とする。</p> <p>【社会福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な対象者のニーズについて、適切に「聴く・伝える・つなげる」力を育む 2. 支援に関わる関係者とのネットワーク構築にむけて、積極的に行動し、自ら働きかける力を育む 3. 身近な地域生活における生活課題に関心を持ち、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の意義。 ・社会調査の種類と方法。 ・社会調査の実際。 <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉になぜ社会調査の知識や技術が必要とされるかを理解する ・量的調査の流れを理解し、実際に調査できるようになる ・演習を通じて質的調査の流れを理解し、実際に調査できるようになる 					
	使用教材		出版社		
	社会福祉調査の基礎		中央法規出版		
【使用教室】					
1. HR		2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	
5. PC実習室		6. 接遇実習室	7. その他 ()		
【評価方法】					
1. 筆記試験		2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	
5. 実技試験		6. その他 ()			
【備考】					
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。					
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無					
【内容】 県社会福祉協議会等での実務経験あり					

科目名 社会福祉調査の基礎		科目時間総数 15 限	教員名 佐藤 雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	<ul style="list-style-type: none"> この科目を受講することで、何が分かり、何を身につけることができるのかの見通しがもてるようになる。 	
	第1回 社会調査・社会福祉調査とはなにか	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査・社会福祉調査の概要（定義）を理解できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
2 限	第2回 社会調査の種類と流れ	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査には、大きく分類して「量的調査」と「質的調査」があることを理解できるようになる。 社会調査の流れを大まかに理解できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
	第3回 量的調査の特徴と種類	<ul style="list-style-type: none"> 全数調査と標本調査の違いを説明できるようになる。 「母集団」、「標本」、「抽出」それぞれの言葉の意味を説明できるようになる。 無作為抽出法を実践できるようになる。 無作為抽出には5つの方法があることを理解し、どのような場合にいずれの抽出法を選択すればよいのか、答えられるようになる。 	
3 限		<ul style="list-style-type: none"> 横断調査と縦断調査の違いを説明できるようになる。 縦断調査のうち、動向調査、パネル調査、コーホート調査の違いを説明することができるようになる。 「自計式」と「他計式」の違いを説明できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
	第4回 量的調査の実際 ①調査票の作成	<ul style="list-style-type: none"> 概念の明確化・操作化の意味を理解し、実践できるようになる。 仮説の意味を理解し、演習を通し仮説が立てられるようになる。 	
4 限		<ul style="list-style-type: none"> 質問項目を作成する上で注意しなければならない点があることを理解できるようになる。 「キャリアオーバー効果」「ダブルバーレル質問」について説明できるようになる。 選択枝の設定方法を理解し、どういった場合にどの方法を採用すればよいかおおよそ判断できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 4つの尺度の違いを説明できるようになる。 選択枝を作成する上で注意しなければならない点があることを理解できるようになる。 フェイスシートとは何かを理解し、演習を通し作成することができるようになる。 調査協力お願い文を作成できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
5 限	第5回 量的調査の実際 ②調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 調査実施の方法について、それぞれのメリット・デメリットを理解し、仮に自分が実施しようとしている調査の場合に、どの方法が最も適切であるかをおおよそ判断できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
6 限	第6回 量的調査の実際 ③データの集計	<ul style="list-style-type: none"> データクリーニングの方法を理解できるようになる。 度数分布表、クロス集計表を実際に作成できるようになる。 表の種類を学び、それぞれどういった結果を表すのに適しているのかを理解できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
7 限	第7回 代表値と調査倫理	<ul style="list-style-type: none"> 標本平均、中央値、最頻値の意味を理解できるようになると同時に、エクセル上で算出できるようになる。 社会調査を行うものの倫理について、特に大切な点を2点挙げるができるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
7.5 限		<ul style="list-style-type: none"> 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
7.5 ～ 15 限	第8回 質的調査の実際 (2日間スクーリング)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質的調査とは何かを答えられるようになる。 ・ 質的データとは何かを答えられるようになる。 ・ 質的調査のメリット・デメリットを説明できるようになる。 ・ 構造化インタビューについて説明できるようになる。 ・ 演習を通し、与えられたテーマをもとにインタビューの質問文を作成することができるようになる。 ・ 演習を通して、20分間のインタビュー調査をできるようになる。 ・ 演習を通して、音声データを文字におこすことができるようになる。 ・ 演習を通して、KJ法を用いた質的データの分析を実際に体験する。

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 福祉サービスの組織と経営	教員名 細 田 重 憲
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 社会福祉制度と利用者とを繋ぐ「福祉サービス」について、実際に福祉サービスを提供している組織（主体）にはどのような組織があるか、その運営はどのような理論・研究に基づいて行われているか、実際の経営・管理はどのように行われているかなどを学び、組織や経営の視点から個別の実践・福祉サービスを考えることができるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 福祉サービスについて、①福祉サービスの概念、②福祉サービスを提供する多様な組織（種類、特徴など）、③組織が持つ特性や力学、組織におけるリーダーシップのあり方などの理論、④福祉サービス提供組織の経営体制、経営管理、情報管理、会計管理など経営の実際、⑤福祉人材マネジメント・育成 などの視点から学んでいく。</p> <p>【授業における達成課題】 ①福祉サービスを提供している多様な組織について、それぞれが果たすべき役割・意義を論ずることができる。②組織に関する基礎的な理論及び経営管理の実際から、自分の実習先、進路希望先の組織について分析・検討ができるようになる。③社会人としての自分のキャリアパスを考えることができる。</p>	
	使用教材
	出版社
	「福祉サービスの組織と経営」最新 社会福祉士養成講座 中央法規出版
【使用教室】	
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）	
【評価方法】	
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）	
【備考】 テキストは新カリ対応だが、旧カリを踏まえて説明する	
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無	
【内容】 福祉施設運営経験あり。	

科目名 福祉サービスの組織と経営		科目時間総数 15 限	教員名 細田重憲
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 福祉サービスとは」	○ 学習目的、範囲、授業の進め方、参画の仕方を理解する ○ 福祉サービスという言葉の意味、基本的理念について理解する	
2 限	福祉サービスを提供 する組織①	○ 福祉サービス提供組織が多様であること、法人制度について理解する。 ○ 社会福祉法人の福祉サービスにおける意義、法的根拠、規制が説明できる	
3 限	福祉サービスを提供 する組織②	○ NPO法人、医療法人等の特質、福祉サービスにおける役割などを理解し、説明できるようになる。	
4 限	福祉サービスを提供 する組織③	○ 措置時代からの歴史的経緯を踏まえ、現代社会における福祉サービスの意味を説明できるようになる。	
5 限	福祉サービスの組織 と運営に係る基礎理論①	○ 組織に関する基礎理論、組織の三要素を理解し、組織におけるコンフリクト、モチベーションについて実際の例をもとに説明できるようになる。	
6 限	福祉サービスの組織と 運営に係る基礎理論②	○ 集団の力学、チームの機能について理解するし、これまでに属した集団における実際例を考え、話すことができる。	
7 限	福祉サービスの組織 と運営に係る基礎理論③	○ リーダーシップ・フォロワーシップについて理解し、望ましいリーダーシップについて自分の考えを説明できる。	
8 限	福祉サービス提供組織 の経営と実際	○ 非営利法人(社会福祉法人)、営利法人(株式会社)の経営体制を理解し、福祉サービスにとってのメリット、デメリットを比較、説明できる。	
9 限	福祉サービス提供組 織の経営と実際	○ コンプライアンス、ガバナンスの概念を理解し、今日、組織にとって不可欠である理由を実例を踏まえて説明できる。	
10 限	福祉サービス提供組織 の経営と実際	○ 福祉経営の特質、福祉経営におけるマーケティングの必要性を理解する。 ○ 苦情解決、リスクマネジメントの重要性を理解し、実例をあげて説明できる。	
11 限	福祉サービス提供組 織の経営と実際	○ 情報管理と会計・財務管理の必要性、概要を理解する。	
12 限	福祉人材のマネジメ ント	○ 人材マネジメントの意味、必要性を理解する。	
13 限	福祉人材のマネジメ ント	○ 福祉人材育成の必要性、育成の実際、キャリアパスの意味と意義を理解し、自らの問題として意見を言うことができる。	
14 限	福祉人材のマネジメ ント	○ 労務管理、労働環境整備の福祉サービスにとっての意義を理解する。	
15 限	まとめ	○ これまでの学習のまとめ、期末試験のガイダンス等	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	更生保護制度	教員名	西山優佳
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	3年
		開講時期 :	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。更生保護を中心に、刑事司法、少年司法分野で活動する組織・団体及び専門職について理解する。 刑事司法・少年司法分野その他機関との連携の在り方について理解する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 更生保護制度の概要・担い手・関係機関・団体 ・ 医療観察制度の概要 ・ 更生保護制度における近年の動向と課題</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について社会福祉士が行う相談援助に必要な知識と技術を習得する</p>			
	使用教材		出版社
	更生保護制度		中央法規出版
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：筆記試験は60点以上を合格とする。A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 福祉施設等での現場経験有り</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
更生保護制度		15 限	西山優佳
限	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	更生保護制度の概要	刑事司法のなかの更生保護が理解できる	
2 限		仮釈放について理解する	
3 限		保護観察について理解する	
4 限		生活環境の調整について理解する	
5 限		更生緊急保護について理解する	
6 限		犯罪被害者等の施策について理解する	
7 限		恩赦について理解する	
8 限		犯罪予防活動について理解する	
9 限	更生保護制度の担い手	保護監察官・保護司など制度の担い手について理解する	
10 限			
11 限	関係機関との連携	裁判所・検察庁など関係機関や団体との連携について理解する	
12 限			
13 限	医療観察制度の概要	医療観察法に基づく処遇制度の創設について理解する	
14 限		生活環境の調査・調整について理解する	
15 限	更生保護の実際と今後の展望	保護観察官・社会復帰調整官の業務について理解する	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	就労支援サービス	教員名	佐藤雅子
科目時間数 :	8	限	
必修・選択の別 :	(必修) 選択	授業の種類 :	(講義) ・ 演習 ・ 実習
	配当学年 :	3年	開講時期 :
			(前期) ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働市場の変化を踏まえた雇用、就労の動向と施策を理解する。 ・ 障害者、低所得者に対する就労支援の現状と諸制度を理解する。 ・ 就労支援にかかる専門職の役割・連携の在り方を理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>社会福祉士養成講座「社会保障」「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」「低所得者に対する支援と生活保護制度」との関係性を意識しながら、障害者・低所得者に対する就労支援について講義を行う。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、社会福祉士として必要な知識を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座 18	就労支援サービス	中央法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 社会福祉士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
就労支援サービス		8 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	雇用・就労の動向と施策	働くことの意味と社会福祉士の役割 労働市場の変化 労働に関する法律と制度	
2 限	障害者と就労支援 (専門職の役割と実際)	障害者の就労の現状 障害者福祉施策における就労支援 (障害者福祉施策における専門職の役割)	
3 限		障害者雇用施策における就労支援 (障害者雇用施策における専門職の役割) 特別支援学校における就労支援	
4 限		民間の取組み 諸外国の取組み	
5 限		低所得者と就労支援 (専門職の役割と実際)	
6 限		低所得者等にかかる就労支援 (低所得者等の就労支援における専門職の役割)	
7 限	就労支援の連携と実際	連携の課程 連携の意義 連携の実際	
8 限	様々な働き方の支援	社会福祉士と就労支援 他	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ソーシャルワークの理論と方法		教員名 田代 拓之	
科目時間数 : 30限		授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 本授業では、ソーシャルワーカーが行う相談援助について、人と環境の交互作用や援助関係の形成方法について、基礎能力を身に着けるための学習とする。 また、ソーシャルワークの実践方法と根拠となる理論について、事例を通して実践的な相談援助の一連の展開過程について学ぶことを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ソーシャルワークの概念構造と基礎理論についてテキストに基づき説明する。また、ソーシャルワーカーに必要な理念・価値・知識・技術等の基盤については具体的な事例に基づきイメージを持ってもらいながらの説明を行うとともに、学生にも主体的に考える機会を提供する。さらには、実践場面におけるミクロ、メゾ、マクロ視点を理解・意識できるよう身近な出来事と関連づけながらソーシャルワーカーとしての共通言語の習得を目指す。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワークの意義、構造と機能について理解し、説明できる。 ・ 対人援助技術としてのソーシャルワークの基礎的な技術を習得できる。 ・ 人と環境の交互作用について理解し、説明できる。 ・ 授業で学ぶ理論が実践場面でどのように活用されるか関連付けることができる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員用	最新 社会福祉士養成講座 ソーシャルワークの理論と方法	中央法規	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 (リアクションペーパーの内容)		
【備考】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆記試験 (80%)、リアクションペーパー及び授業態度等 (20%) による。 ・ 両方合わせて、60%以上の点数を取得することで合格とする。 ・ リアクションペーパー・授業態度については、記述内容及びルーブリック評価に基づいて評価する。 			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 障がい児、障がい者施設の支援員、発達障害者支援センター相談員、相談支援専門員等の実務経験			

科目名 ソーシャルワークの理論と方法（共通）		科目時間総数 30限	教員名 田代 拓之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	オリエンテーション 相談援助とは	科目のねらいや学習の進め方について理解する。	
2限	ソーシャルワークの展開 過程について①「目標と 展開過程」	ソーシャルワークの目標を理解し、ソーシャルワークの展開過程の概要を理解する。	
3限	ソーシャルワークの展開 過程について②「ケースの発 見とエンゲージメント」	ケース発見のさまざまな形について学び、相談ケースのおかれている様々な状況を知る。	
4限	ソーシャルワークの展開 過程について③「エン ゲージメント」	エンゲージメント（インテーク）の意味と役割を学び、クライアントとの関係構築の留意点を理解する。	
5限	ソーシャルワークの展開 過程について④「アセス メント」	ソーシャルワークにおけるアセスメントの重要性を学び、個人と社会環境へのアセスメントについて理解する。	
6限	ソーシャルワークの展開 過程について⑤「プラン ニング」	プランニングの概要と具体的活用方法を理解する。	
7限	ソーシャルワークの展開 過程について⑥「支援の 実施とモニタリング」	相談援助における支援の流れとモニタリングの目的及び意義を理解する。	
8限	ソーシャルワークの展開 過程について⑦「支援の 終結と結果評価」	支援の終結が「過程」であることを理解するとともに、結果評価の意義・視点・方法を理解する。	
9限	ソーシャルワーカーが活 用する理論について	システム理論、生態学理論他、ソーシャルワーカーが学ぶ数種の理論を知り、それぞれの有効性を理解する。	
10限	バイオ・サイコ・ソー シャルモデルについて	バイオ・サイコ・ソーシャルモデルの内容と実践場面におけるそれぞれの関係性を理解する。	
11限	ミクロ・メゾ・マクロレ ベルにおけるソーシャル ワークについて	ミクロ・メゾ・マクロの視点の意味を知り、ソーシャルワーク場面における実際を知る。	
12限	ソーシャルワークの実践 モデルとアプローチにつ いて①	治療モデル、ストレングスモデル、生活モデル、心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチの内容を理解する。	
13限	ソーシャルワークの実践 モデルとアプローチにつ いて②	課題中心アプローチ、行動変容アプローチ、認知アプローチ、危機介入アプローチ、エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ、解決志向アプローチの内容を理解する。	
14限	ソーシャルワークの実践 モデルとアプローチにつ いて③	12限、13限で学ばなかった他のアプローチを知るとともに、これまで学んだアプローチの違いを再確認する。	
15限	前期のまとめと振り返り	期末試験に向けて、これまでの学びを振り返り、相談援助の展開過程を復習し、重要事項・キーワードについて説明できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
16限	ソーシャルワークの面接と記録①「面接の意義と目的」	相談援助における面接の意義・目的を理解する。
17限	ソーシャルワークの面接と記録②「面接の方法」	相談援助における面接の具体的方法を理解する。
18限	ソーシャルワークの面接と記録③「記録の意義と目的」	相談援助における記録の意義と目的及び記録のポイントを理解する。
19限	ソーシャルワークの面接と記録④「記録の方法」	相談援助における具体的な記録の仕方を理解する。
20限	ケアマネジメント①「歴史と原則」	ケアマネジメントの歴史を知り、ケアマネジメントの基本的な原則を理解する。
21限	ケアマネジメント②「意義と方法」	ケアマネジメントの意義及びモデルの種類を知り、ケアマネジメントのプロセスを理解する。
22限	グループを活用した支援①「グループワークの意義と目的」	グループワークの意義・目的等、概要を理解する。
23限	グループを活用した支援②「グループワークの展開過程」	グループワークのプロセスとプロセスの各段階の内容を理解する。
24限	コミュニティワーク①「コミュニティワークの意義と目的」	コミュニティワークの内容や目的及び地域活動の意義と具体的活動内容を理解する。
25限	コミュニティワーク②「コミュニティワークの展開」	コミュニティワークの展開過程を理解する。
26限	ソーシャルアドミニストレーション	ソーシャルアドミニストレーションの概念、意義、定義を理解する。
27限	ソーシャルアクション①「概念と意義」	ソーシャルアクションの現状を知り、ソーシャルアクションの意義を理解する。
28限	ソーシャルアクション②「コミュニティ・オーガナイズング」	コミュニティ・オーガナイズングの現状を知り、その展開過程を理解する。
29限	スーパービジョンとコンサルテーション	スーパービジョンの意義、目的、方法を理解する。
30限	後期のまとめと振り返り	期末試験に向けて、これまでの学びを振り返り、ソーシャルワークの面接過程や記録、ケアマネジメントの内容等を復習し、重要事項・キーワードについて説明できる。

科目名 ソーシャルワークの理論と方法（専門		科目時間総数 30 限	教員名 高橋 勝
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	オリエンテーション	科目のねらいや学習の進め方について理解する	
2限	相談援助における対象の理解	ソーシャルワークのグローバル定義について説明できる。	
3限		システム理論に基づき、全体的、包括的な視点を持つことができる。	
4限	ケアマネジメント	ケアマネジメントの目的や構成要素について説明ができる。	
5限		ケアマネジメントの展開過程について説明ができる。	
6限		ケアマネジメントにおけるアセスメントの意味と目的を説明できる。	
7限	グループを活用した相談援助	グループワークの意義、基本的枠組みについて説明できる。	
8限		グループワークの展開過程を説明できる。	
9限		自助グループ、サポートグループについて説明できる。	
10限	コーディネーション	コーディネーションの目的と意義について説明できる。	
11限	ネットワーキング	ネットワーキングの意義と目的について説明できる。	
12限	社会資源の活用・調整等	社会資源の活用・調整・開発の意義と目的について説明できる。	
13限	相談援助の実際について考察する	具体的な事例を用いて、これまで習得したソーシャルワークの知識・技術を基に、ソーシャルワーカーとしてどのような支援が必要かを考察し、提案することができる。	
14限	前期のまとめと振り返り	これまでの学びを振り返り、重要事項・キーワードについては改めて個々に説明できる	
15限		期末試験に向けて、相談援助の展開過程を復習し、説明できる	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
16限	さまざまな実践モデルとアプローチ	実践モデルとその意味、3つのモデルについて答えることができる。
17限		ジェネラリスト・ソーシャルワークとの関係について説明できる。
18限		事例考察により、実践モデルとアプローチを活用できる。
19限		事例考察により、実践モデルとアプローチの課題をまとめることができる。
20限	事例研究・事例分析	事例研究・事例分析の目的と意義について説明できる。
21限		事例研究・事例分析の方法と留意点について説明できる。
22限	ケースカンファレンス	ケースカンファレンスの意義と目的について説明できる。
23限		ケースカンファレンスの運営と展開過程について説明できる。
24限	スーパービジョンとコンサルテーション	スーパービジョンとコンサルテーションの目的と意義について説明できる。
25限		スーパービジョンの機能及び方法と留意点について説明できる。
26限	相談における個人情報の保護	・個人情報保護の制度や考え方について説明できる。
27限	相談援助の実際について考察する	具体的な事例を用いて、これまで習得したソーシャルワークの知識・技術を基に、ソーシャルワーカーとしてどのような支援が必要かを考察し、提案することができる
28限		
29限		
30限	後期のまとめと振り返り	これまでの授業で学んだ、ソーシャルワーカーに必要な知識・技術を再確認し、支援現場で実践できる

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	保健医療と福祉	教員名	箱石 隆子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	3年次
		開講時期 :	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 社会福祉士として必要な保健医療サービスの知識の取得を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 相談援助において必要な医療保険制度や保健医療サービスについて「ひと」「もの」「かね」の視点から理解を深める。 また、保健医療サービスにおける専門職の役割を理解する。</p> <p>【授業における達成課題】 保健医療分野における各種サービスの内容と提供システムを理解し社会福祉士としての役割を意識し、他の専門性を理解した上で多職種連携の課題を考える。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	最新社会福祉士養成講座 5	中央法規	
教員参考用	保健医療と福祉		
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】 実技試験は60点以上を合格とする。 評価について：筆記試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験】 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
【内容】			

科目名		科目時間総数	教員名
保健医療と福祉		15 限	箱石 隆子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	保健医療の対象者理解 患者の権利	支援の対象者である患者と家族視点と課題を理解し、事例を通し支援のあり方を検討する。 患者の権利について歴史的経緯とインフォームドコンセントについて説明ができる。	
2 限	医療倫理 "	医療倫理の4原則を理解し説明ができる。 倫理課題の概要を理解し、福祉における倫理との違いが説明できる。	
3 限	"	リスボン宣言、出生前診断、について調べる。	
4 限	患者の意思決定支援 "	患者の持つ権利について倫理的課題について意見交換ができる。	
5 限	保健医療の動向 保健医療の福祉的課題	意思決定支援の4モデルの特徴と相違点が説明できる。 ACP、AD、POLSTの概念を理解し意思決定支援の課題を考える。	
6 限	" 保健医療の政策・制度	疾病構造の変化、医療提供体制の変化を理解し、MSWの役割の変化について話し合う。 疾病構造の変化、保健医療体制の変化における福祉的課題を把握する。 疾病構造、医療体制の変化において福祉的課題が生じる理由を検討する。 保健医療制度の仕組み・政策の課題と方向性を理解する。	
7 限	" 医療保障制度	医療法を通し医療提供体制について理解し、身近な地域の医療体制を調べる。 社会保険の基礎的知識が答えられる。	
8 限	"	保険料減免、保険給付について基礎的知識が答えられる。 自分が住んでいる自治体での医療費助成制度について調べ説明できる。	
9 限	保健医療サービスの専門職の役割 "	保健医療サービスにおける各専門職と役割を説明できる。 保健医療サービスにおける地域関係機関を学ぶ。	
10 限	関係機関との連携 "	保健医療サービスにおける各専門職職と地域関係機関の事例を通し連携に必要な知識を習得する。 MSWが実践する関係機関との連携の事例をとおして学ぶ。 MSWが参画する保健医療システム作りについて学ぶ。	
11 限	保健医療サービスにおける医療ソーシャル "	MSWの役割や6つの業務範囲を説明できる。	
12 限	"	保健医療領域における支援の事例1を通し、MSWの判断基準、活用した知識や技術を説明できる	
13 限	"	保健医療領域における支援の事例2を通し、MSWの判断基準、活用した知識や技術を説明できる	
14 限	"	保健医療領域における支援の事例3を通し、MSWの判断基準、活用した知識や技術を説明できる	
15 限	"	保健医療領域における支援の事例4を通し、MSWの判断基準、活用した知識や技術を説明できる	
16 限	"	保健医療領域における支援の事例5を通し、MSWの判断基準、活用した知識や技術を説明できる	
17 限	"	保健医療領域における支援の事例6を通し、MSWの判断基準、活用した知識や技術を説明できる	
15 限	試験対策 "	国家試験問題を解き、間違えた箇所は解説解答を通し理解する。 "	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	社会保障	教員名	熊谷雅順
科目時間数 :	30	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	3年
		開講時期 :	(前期)・(後期)・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 ①現代社会における社会保障制度の課題について理解する②社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する③公的保険制度と民間保険制度の関係④社会保障制度の体系と概要について理解する⑤年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ○現代社会における社会保障制度の課題○社会保障の概念や対象及びその理念○釈迦保障の財源と費用○社会保険と社会扶助の関係○公的保険制度と民間保険制度の関係○社会保障制度の体系○年金保険制度の具体的内容○医療保険制度の具体的内容○諸外国における社会保障制度の概要</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について社会福祉士が行う相談援助に必要な知識と技術を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
	社会保障	中法法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：筆記試験の結果によりA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 福祉施設での職務経験あり			

科目名		科目時間総数	教員名
社会保障		30 限	熊谷 雅順
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	現代社会と社会保障	社会保障制度の範囲について学ぶ	
2 限	社会保障の歴史	社会保障の理念と機能を理解する	
3 限	社会保障の構造	社会保険の構造について学ぶ①	
4 限	社会保障の構造	社会保険の構造について学ぶ②	
5 限	社会保障の財源と費用	社会保障制度の体系について学ぶ	
6 限	社会保障の財源と費用	社会保険の構造について学ぶ	
7 限	年金保険制度	国民年金について学ぶ①	
8 限	年金保険制度	国民年金について学ぶ②	
9 限	年金保険制度	国民年金について学ぶ③	
10 限	年金保険制度	国民年金について学ぶ④	
11 限	年金保険制度	厚生年金について学ぶ⑤	
12 限	医療保険制度	医療保険制度について学ぶ①	
13 限	医療保険制度	医療保険制度について学ぶ②	
14 限	医療保険制度	医療保険制度について学ぶ③	
15 限	医療保険制度	医療保険制度について学ぶ④	
16 限	介護保険制度	介護保険制度について学ぶ①	
17 限	介護保険制度	介護保険制度について学ぶ②	
18 限	介護保険制度	介護保険制度について学ぶ③	
19 限	介護保険制度	介護保険制度について学ぶ④	
20 限	労働保険制度	労働者災害補償保険について学ぶ①	
21 限	労働保険制度	労働者災害補償保険について学ぶ②	
22 限	労働保険制度	雇用保険について学ぶ①	
23 限	労働保険制度	雇用保険について学ぶ②	
24 限	社会福祉制度	社会福祉制度について学ぶ①	
25 限	社会福祉制度	社会福祉制度について学ぶ②	
26 限	社会保障と民間保険	民間保険について学ぶ	
27 限	社会保障が当面する課題	社会保障が当面する課題について学ぶ	
28 限	諸外国における社会保障制度	諸外国における社会保障制度について学ぶ①	
29 限	諸外国における社会保障制度	諸外国における社会保障制度について学ぶ②	
30 限	全体のまとめ	全体の復習	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	ソーシャルワーク演習			教員名	砂田 麻子			
科目時間数 :	15 限			授業の種類 :	講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習			
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択			配当学年 :	2年		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解するとともに、ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養い、知識と技能を実践的に理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループディスカッションを中心とした演習形態により、知識や技能及びコミュニケーション能力を実践的に体得する。</p> <p>【授業における達成課題】 ①自己理解と他者理解（自己覚知）を深める。 ②基本的なコミュニケーション技術について理解し実践できる。 ③基本的な面接技術について理解し実践できる。 ④ソーシャルワークの展開過程についてプロセスを学ぶ。</p>								
	使用教材				出版社			
学生用 教員参考書	最新 社会福祉士養成講座 ソーシャルワーク演習（共通） ソーシャルワーク実践事例集 ソーシャルワーク演習ケースブック 学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習				中央法規出版 明石書店 （株）みらい ミネルヴァ書房			
【使用教室】								
1. HR		2. 介護実習室		3. 家政実習室		4. 視聴覚室		
5. PC実習室		6. 接遇実習室		7. その他（ ）				
【評価方法】								
1. 筆記試験		2. レポート		3. 出席		4. 授業態度		
5. 実技試験		6. その他（ ）						
【備考】								
評価について：レポートを合格すること。筆記試験（近大試験）においてA（80点以上）B（70～79）C（60～69）D（59点以下：不合格）とする								
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無								
【内容】 スクールソーシャルワーカーとしての実務経験								

科目名		科目時間総数	教員名
ソーシャルワーク演習		15 限	砂田 麻子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	自己覚知	自分の物事の考え方について改めて考える 「私は～です」	
2 限	自己覚知	自分マップ作り 自分を見つめる	
3 限	自己覚知	自分のジェノグラム、エコマップを書いてみよう	
4 限	物事のとらえ方	様々な視点で物事のとらえ方を学ぶ 事件を元に様々な角度から考えてみよう	
5 限	ソーシャルワークの流れ	ソーシャルワークの展開 中央法規ソーシャルワーク演習 (共通科目)	
6 限	ソーシャルワークの流れ	ソーシャルワークの展開 中央法規ソーシャルワーク演習 (共通科目)	
7 限	面接	面接の目的・面接の基盤 中央法規ソーシャルワーク演習 (共通科目) 118～124	
8 限	インテーク	事例を用いインテークからモニタリングまでの流れを理解する① 事例中心で学ぶ相談援助演習 4 1～4 3	
9 限	アセスメント	事例を用いインテークからモニタリングまでの流れを理解する② 事例中心で学ぶ相談援助演習 4 4～4 6	
10 限	プランニング	事例を用いインテークからモニタリングまでの流れを理解する③ 事例中心で学ぶ相談援助演習 4 7～4 9	
11 限	モニタリング	事例を用いインテークからモニタリングまでの流れを理解する④ 事例中心で学ぶ相談援助演習 5 0～	
12 限	役割について考える	様々な役割を演じてみることで立場や役割について考える	
13 限	受容	受容するということについて体験的に理解する ソーシャルワーク演習ケースブック 7 0～7 3	
14 限	他者理解	それぞれの価値観の違い 価値観の違い、他者の行動を理解する 対人援助のためのグループワーク 8 4～8 5 「ネクタイ」	
15 限	アセスメント	実習前の不安な気持ちや期待、課題等をお互いの話を聞き整理する	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ソーシャルワーク演習（専門）	教員名 砂田 麻子		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年	開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解するとともに、ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養い、知識と技能を実践的に理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループディスカッションを中心とした演習形態により、知識や技能及びコミュニケーション能力を実践的に体得する。</p> <p>【授業における達成課題】 ① ソーシャルワークの展開過程について具体的な場面を通して学び、実践できる。 ② ソーシャルワークの記録について理解し実践できる。 ③ グループワークについてその意義や展開過程を実践的に学び活用できる。 ④ プレゼンテーション技術について学び、実践できる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用 教員参考書	最新 社会福祉士養成講座 ソーシャルワーク演習（共通） ソーシャルワーク実践事例集 ソーシャルワーク演習ケースブック 学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習	中央法規出版 明石書店 (株)みらい ミネルヴァ書房	
【使用教室】			
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）			
【備考】			
評価について：レポートを合格すること。筆記試験（近大試験）においてA（80点以上）B（70～79）C（60～69）D（59点以下：不合格）とする			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 スクールソーシャルワーカーとしての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
ソーシャルワーク演習（専門）		15 限	砂田 麻子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	実習振り返り	実習での体験をまとめて発表する	
2 限	実習振り返り	実習での体験をまとめて発表する	
3 限	高齢者	事例を元に障害児とその家族の支援を考える 事例中心で学ぶ相談援助演習 73～77	
4 限	障害児	事例を元に障害児とその家族の支援を考える 事例中心で学ぶ相談援助演習 73～77	
5 限	個別化	事例を元に個別化について考える ソーシャルワーク演習ケースブック 66～69	
6 限	グループワーク	新人研修（3年生との合同授業）	
7 限		価値観の違いについて理解する 「トポス」 対人援助のグループワーク 110～115	
8 限	権利擁護	事例を元に差別、権利擁護について考える ソーシャルワーク演習ケースブック 46～50	
9 限	児童	事例を元に児童の分野での問題について考える ソーシャルワーク演習ケースブック 81～87	
10 限	社会正義	事例を元に差別、偏見について考える ソーシャルワーク演習ケースブック 35～40	
11 限	記録	面接相談記録の作成を通して実践的な記録の書き方について学ぶ 学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習 96～101	
12 限	スクールソーシャルワーク	事例を元にスクールソーシャルワーカーの仕事について理解する ソーシャルワーク演習ケースブック 188～194	
13 限	自己覚知	自分について作業を通して振り返る 「わたしの木」 対人援助のためのグループワーク 121～123	
14 限	グループワーク	情報を共有し一つの答えを出す 「海賊フックの財宝」 対人援助のためのグループワーク 35～43	
15 限	グループワーク	昆布おにぎりゲーム	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 相談援助演習	教員名 砂田 麻子	
科目時間数 : 45 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 3年 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>① ソーシャルワークの価値に基づいて実践で何を指すべきかを述べるができる。 ② ソーシャルワークの基本的な視点と知識に基づいて、クライアントの状況を多面的に理解し、他者がわかるように説明することができる。 ③ ミクロ、メゾ、マクロのそれぞれのレベルでの介入について理解し、基本的な介入スキルを身に着けている。 ④ ソーシャルワーク実践の評価について理解し、実践についての自己評価ができ、実践の改善に役立てることができる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループディスカッションを中心とした演習形態により、知識や技能及びコミュニケーション能力を実践的に体得する。ソーシャルワークに係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できるようにする。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>① 具体的な事例を活用し、クライアントの抱える複合的な課題に対して総合的かつ包括的な支援について実践することができる。 ② 地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し実践できる。</p>		
	使用教材	出版社
学生用 教員参考書	最新 社会福祉士養成講座 ソーシャルワーク演習（専門） 社会福祉士養成講座 相談援助演習 ソーシャルワーク実践事例集 ソーシャルワーク演習ケースブック 学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習	中央法規出版 中央法規出版 明石書店 (株)みらい ミネルヴァ書房
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートを合格すること。筆記試験（近大試験）においてA（80点以上）B（70～79）C（60～69）D（59点以下：不合格）とする</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内容】 スクールソーシャルワーカーとしての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
相談援助演習		45 限	砂田 麻子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	コミュニケーション	グループワークを通し非言語コミュニケーションについて体験する 「移民 であらめ島」 対人援助のためのグループワーク	
2 限	自己覚知	自分の気持ちをまとめ、自分の課題を言葉で整理する 「私の信念」 対人援助のためのグループワーク	
3 限	スクールソーシャルワーク	スクールソーシャルワーカーによる学校内での情報収集 相談援助演習教員テキスト 171～174	
4 限	倫理的ジレンマ	事例を用い、専門職の抱えるジレンマについて考える ソーシャルワークケースブック 63～65	
5 限	高齢支援	超高齢化社会における高齢者の地域支援	
6 限	高齢者支援	独居生活を余儀なくされる若年性認知症の事例 対人援助のための相談援助演習ワークブック 254～262	
7 限	社会福祉協議会	事例を用い社協での支援を考える ミネルヴァ・ワークブック 306～314	
8 限	アウトリーチ	事例を元にアウトリーチの必要性、手法について学ぶ	
9 限	障がい者支援	卒業後の進路について家族の思いが異なる障害者への支援 実践事例集 76～80	
10 限	相談援助の過程①	事例を用い、相談援助の過程について学ぶ ミネルヴァ相談援助演習 99～119	
11 限	相談援助の過程②	事例を用い、相談援助の過程について学ぶ ミネルヴァ相談援助演習 99～119	
12 限	相談援助の過程③	事例を用い、相談援助の過程について学ぶ ミネルヴァ相談援助演習 99～119	
13 限	児童虐待	虐待環境にある過程への介入と子どもへの支援 実践事例集 81～83	
14 限	子ども・家庭支援①	生活の困難が背景にあり子どもがネグレクトされている過程への介入と支援 実践事例集 40～50	
15 限	子ども家庭支援②	生活の困難が背景にあり子どもがネグレクトされている過程への介入と支援 実践事例集 40～51	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
16 限	家庭支援	事例を元に支援の方法を様々な視点から考える 「母子分離した家庭への支援とアフターケア」 実践事例集
17 限	生活保護	事例を元にひとり親世帯への支援を考える 「生活保護を受給しているひとり親世帯の自立支援」
18 限	日常生活自立支援事業	事例を元にフォーマル・インフォーマルサービスについて考える 実践事例集
19 限	障がい者支援①	事例を通し障害者への支援を考える 「入所施設における強度行動障害者への支援と家族との関わりの難しさ」 実践事例集
20 限	障がい者支援②	事例を通し障害者への支援を考える 「入所施設における強度行動障害者への支援と家族との関わりの難しさ」 実践事例集
21 限	地域福祉	事例を通し、地域福祉計画について学ぶ 相談援助教員テキスト 189～194
22 限	連携	会議の案内文・メール文を作成する
23 限	資料作成	会議で決まった内容について分かりやすく報告書を作成する
24 限	電話対応	ロールプレイを行いながら姿の見えない相手に対しての対応の留意点について学ぶ
25 限	アセスメント	面接場面のロールプレイを行いながら課題の整理をする
26 限	父子家庭に対する支援	父子家庭の子供達への地域での支援 実践事例集 97～103
27 限	受容	ロールプレイを通し受容することについて考える ソーシャルワーク演習ワークブック 210～213
28 限	チームアプローチ	ロールプレイを通し連携について考える 「ケースカンファレンス」 演習ワークブック 89～93
29 限	ホームレス	事例を元に貧困に対する支援、低所得者に対する支援について考える
30 限	実習生に対する指導	事例を元に様々な実習生への対応を考えると共に、自分の実習生としての在り方を考える

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
31 限	実習の振り返り①	実習（8/1～9/30）を振り返りそれぞれの体験を元に学んだことを振り返り発表する
32 限	実習の振り返り②	実習（8/1～9/31）を振り返りそれぞれの体験を元に学んだことを振り返り発表する
33 限	実習の振り返り③	それぞれの体験場面における支援について考える
34 限	災害時の相談援助	災害時のソーシャルワーク 中央法規 相談援助演習P298～302
35 限	多様性の理解	LGBTの人々が抱える課題を元に多様性について理解する。
36 限	地域福祉①	地域に必要とされている資源は何かを考える
37 限	地域福祉②	資源を具体的に考え、住民向けにプレゼンをする準備をする
38 限	地域福祉③	発表
39 限	人材育成①	地域支援において必要な人材の育成について考える
40 限	人材育成②	プレゼン準備
41 限	人材育成③	プレゼン（2年生との合同授業）
42 限	人材育成④	プレゼン（2年生との合同授業）
43 限	用語の整理①	各自割り当てられた科目の中で重要な用語について分かりやすくまとめる
44 限	用語の整理②	各自割り当てられた科目の中で重要な用語について分かりやすくまとめる（発表）
45 限	振り返り	2年間の振り返り 「私の樹」

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ソーシャルワーク実習 指導	教員名 大富和弘 ・佐藤雅子				
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習				
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年				
開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中					
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助実習の意義について理解する。 ・ 相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。 ・ 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題の把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ・ 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくこと <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助実習と相談援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義 ・ 実際の実習分野と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解 ・ 実習先で行われる介護や保育等の関連業務に関する基本的な理解 ・ 現場体験学習及び見学実習 ・ 実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術に関する理解 ・ 実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解 <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、社会福祉士として必要な知識・技術・価値を習得する。</p>					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">使用教材</th> <th style="width: 50%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">新社会福祉士養成講座 相談援助実習</td> <td style="padding: 5px;">中央法規出版</td> </tr> </tbody> </table>	使用教材	出版社	新社会福祉士養成講座 相談援助実習	中央法規出版
使用教材	出版社				
新社会福祉士養成講座 相談援助実習	中央法規出版				
【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()					
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()					
【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。					
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無					
【内容】 社会福祉士の実務経験					

科目名 ソーシャルワーク実習指導（2年次）		科目時間総数 15 限	教員名 大富和弘・佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	実習概要を理解する。	
2 限	施設見学	現場の環境や対人援助の実際について印象をつかむ。	
3 限	実習報告会	3年生の実習報告から、相談援助実習においてどのようなことを経験するのかを理解する。	
4 限			
5 限	テキスト「序章」 専門職養成と実習の関 係の明確化	専門職養成と実習の関係の明確化について理解する。	
6 限	テキスト「1章」 相談援助実習の位置づ けと内容	相談援助実習の位置づけと内容について理解する。	
7 限	テキスト「2章」 ソーシャルワーカーと しての社会福祉士	ソーシャルワーカーとしての社会福祉士について理解する。	
8 限	テキスト「3章」 実習の場と形態	実習の場と形態について理解する。	
9 限	テキスト「4章」 契約の中にある実習	契約の中にある実習について理解する。	
10 限	テキスト「5章」 実習スーパービジョン の理解	実習スーパービジョンについて理解する。	
11 限	テキスト「6章」 実習評価の理解	実習評価について理解する。	
12 限	テキスト「7章」 実習先機関・施設、地 域の理解	実習先機関・施設、地域について理解する。 自分の実習先に関する事前学習を進める。	
13 限	テキスト「8章」 実習先機関・施設、地 域の利用者理解と援助 方法	実習先機関・施設、地域の利用者理解と援助方法について理解する。	
14 限			
15 限	テキスト「9章」 相談援助実習の仕組み	相談援助実習の仕組みについて理解する。	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	相談援助実習指導	教員名	大富和弘 ・佐藤雅子
科目時間数 :	45	限	
必修・選択の別 :	(必修)・選択	授業の種類 :	(講義) ・ (演習) ・ 実習
	配当学年 :	3年	開講時期 :
			(前期) ・ (後期) ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助実習の意義について理解する。 ・ 相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。 ・ 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題の把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ・ 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助実習と相談援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義 ・ 実際の実習分野と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解 ・ 実習先で行われる介護や保育等の関連業務に関する基本的な理解 ・ 現場体験学習及び見学実習 ・ 実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術に関する理解 ・ 実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解 ・ 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成 ・ 巡回指導 ・ 実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成 ・ 実習の評価全体総括会 <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、社会福祉士として必要な知識・技術・価値を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座	相談援助実習	中央法規出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 福祉現場の実務経験あり。			

科目名		科目時間総数	教員名
相談援助実習指導3年次		45 限	大富和弘・佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
16 限	オリエンテーション 事前学習課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実習概要の説明（相談援助マニュアルの説明） ・事前訪問の準備（個人票の作成、連絡先・経路等の確認） ・事前学習課題として実習先の運営組織や法制度、地域特性、利用者、関連業務等について理解する。 	
17 限	テキスト「10 11章」 事前学習課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題として実習先の運営組織や法制度、地域特性、利用者、関連業務等について理解する。 	
18 限	相談援助実習計画書の作成 テキスト「10 11章」	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習計画書のなかで実習テーマ・達成課題を設定する。 	
19 限	相談援助実習計画書の作成 テキスト「12章・1～2節」	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題として実習先の運営組織や法制度、地域特性、利用者、関連業務等について理解する。 ・相談援助実習計画書のなかで実習テーマ・達成課題を設定する。 ・相談援助技術の理解と実習における実践「基本的なコミュニケーション、円滑な人間関係形成」「利用者理解、利用者の需要把握、支援計画の作成」について理解する。 	
20 限	事前訪問（1回目）	実習先に最初の事前訪問を行う。	
21 限	事前学習課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題として実習先の運営組織や法制度、地域特性、利用者、関連業務等について理解する。 	
22 限	相談援助実習計画書の作成 テキスト「12章・3～5節」	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習計画書のなかで実習テーマ・達成課題を設定する。 ・「利用者や家族との援助関係の形成」「利用者や家族への権利擁護、支援と評価」「チームアプローチの実際」について理解する。 	
23 限	事前学習課題 相談援助実習計画書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題として実習先の運営組織や法制度、地域特性、利用者、関連業務等について理解する。 ・相談援助実習計画書のなかで実習テーマ・達成課題を設定する。 	
24 限	個別スーパービジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・個別スーパービジョンを実施する。 	
25 限	事前学習課題完成 相談援助実習計画書完成	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題を完成させる。 ・相談援助実習計画書を完成させる。 ・相談援助実習計画書、事前学習課題を発送する。 	
26 限	テキスト「12章・6節」	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士としての職業倫理、施設・職員などに関する規定と責任の理解「守秘義務に関する理解・個人情報保護法の理解」について理解する。 	
27 限	テキスト「12章・7～9節」	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士としての職業倫理、施設・職員などに関する規定と責任の理解「実習先機関・施設の経営やサービスの管理運営の理解」「地域社会の一員として実習先機関・施設の理解」「実習で何をどこまで経験するのか」について理解する。 	
28 限	事前訪問（2回目）準備	<ul style="list-style-type: none"> ・自己診断シート記入、事前訪問の準備。 	
29 限	テキスト「13章」 事前訪問（2回目）準備	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録について理解する。 ・実習日誌配布 ・記録の練習 	
30 限	事前訪問（2回目）	実習直前の事前訪問を行う。	

科目名		科目時間総数	教員名
相談援助実習指導3年次		45 限	大富和弘・佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
31 限	事前訪問（2回目）	実習直前の事前訪問を行う。	
	テキスト「14～15章」	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的マナーや実習生としての基本的ルールを確認する。 ・実習評価について説明（自己評価表の記入の仕方） ・自己診断シートを受けての個別スーパービジョン① 	
32 限	個別スーパービジョン		
33 限	実習前最終確認	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導・帰校日に関する説明。 ・実習中の事故・緊急時の対応の確認。 ・その他実習前最終確認 ・自己診断シートを受けての個別スーパービジョン② 	
	個別スーパービジョン		
34 限	帰校日	<ul style="list-style-type: none"> ・実習経過、進捗の確認 ・記録物の確認。 ・個別スーパービジョン 	
35 限			
36 限	実習後指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返り（グループワーク） ・実習報告書の作成 	
	テキスト「16～17章」		
37 限	実習後指導	実習報告書の作成	
38 限			
39 限	実習後指導	実習報告書の作成	
40 限	事後訪問	実習先に事後訪問を行う。	
41 限	実習後指導	実習報告書の作成	
42 限			
43 限	実習後指導	実習報告書の作成	
44 限	実習報告会	自分の実習内容に関して発表する。	
45 限	テキスト「終章」	求められる社会福祉士について理解する。	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	相談援助実習	教員名	大富和弘・ 佐藤雅子
科目時間数 :	90	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	3年
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術に関する基本知識について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。関連分野の専門職と連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的コミュニケーション ・ 利用者支援 ・ 連携とチームアプローチ ・ 社会福祉専門職の理解 ・ 運営管理・地域交流と連携 <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉士が行う相談援助に必要な知識と技術を習得する</p>			
	使用教材		出版社
	相談援助実習		中央法規出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 (実習施設)</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 (実習先の評価・実習日誌)</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：実習先の評価を基にA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>			
<p>【内容】 福祉施設での現場経験有り</p>			

科目名 相談援助実習		科目時間総数 90 限	教員名 大富和弘・佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限 ~ 90 限	施設実習	<p>事業所および法人の構造的枠組みを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習先事業所の事業目的、職員体制、利用者定員および利用実績等の理解 ・併設事業所の事業目的、職員体制、利用者定員および利用実績等の理解 ・法人体制の理解 ・実習先事業所の年間予定と各種活動の理解 ・各種会議および委員会活動の目的と活動状況の理解 	
	職種実習	<p>相談員（相談支援に関わる社会福祉士）の業務プロセスを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日次、週次、月次、年次で定型的に行っている相談業務の理解 ・事業所内および法人内で連携する各他職種の理解 ・相談員主催で実施される各種会議、ミーティングの理解 ・ケース記録や会議記録等の各種記録作成と管理の理解 ・利用者及び家族等の当事者との相談方法の理解 ・外部機関との連携の理解 ・ボランティア募集や苦情受付等の外部窓口としての業務の理解 ・広報作成や地域サロン参加等、地域への情報発信・情報収集機能としての業務の理解 	
	ソーシャルワーク実習	<p>ソーシャルワークプロセスの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーク、グループワーク、コミュニティーワークの理解 ・個別支援、地域支援の理解 ・ソーシャルワークの各プロセスの理解 ①インテーク ②契約 ③アセスメント ④プランニング ⑤サービス調整 ⑥モニタリング ⑦評価 ・リスクマネジメントの理解 ・権利擁護の理解 ・ソーシャルワークにおける倫理の理解 ・多職種連携、地域連携の理解 ・アウトリーチ、地域アセスメントの理解 	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	国語概論	教員名	土川律子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 記録・レポート等、倫理的文章を書くための基礎的な事項を学び、事柄をわかりやすく、正確かつ的確に伝える記述する記述力の習得を目標とする。語句の関係、修飾関係等の基本事項を身に付ける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 本授業では、論理的文章の記述力を高めることを目標とする。自己の表現力を確認することから始め、基礎的事項を学び、文全体の構成、事実と意見を書き分ける等、わかりやすく論理的な文章の方現法を身に付ける。要約、意見文の記述、実習日誌から記録文・レポート・論文を完成する</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要なわかりやすい文章を構成する</p>			
	使用教材	出版社	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：筆記試験を実施し、レポート、出席状況を勘案し、A(80点以上)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下：不合格)で評価する</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>			
<p>【内容】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
国語概論		15 限	土川律子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	授業の概要	「記述・レポートの書き方」の基礎を学習することを知る。文字と表記、書き言葉の基本に留意し、記述できる	
	「理解」する力を確認	ある写真の説明文を読み、理解して、その写真を絵で復元できる	
2 限	「説明」する力を確認	図形を文章で「説明」し、説明文を正確に部苦言する。説明する力が身につく	
	「文の組み立て」	主語、述語の関係、修飾関係を例文で確認し、正確な読み取りができる	
3 限	「話し言葉と書き言葉」「表記」	例題により「話し言葉と書き言葉」の違い、「表記」の基本を把握する	
	「文のつなぎ方」	例題により、論理的な文章の展開は、接続の仕方に影響されることを確認する	
4 限	要約力トレーニング①	前回内容を確認し、要約練習により正確な読み取りと分かりやすい分を各トレーニングを実践する	
	「視点」	レポートに用いる「事柄に視点」を置いた表現は、客観的印象を与えることを確認する	
5 限	要約力トレーニング②	要約練習により、正確な読み取りと分かりやすい文を書くトレーニングを実践する	
	「意味の限定」	例題を用いて修飾の仕方によって生じる曖昧な表現を防ぐ練習をする	
6 限	要約力トレーニング③	要約練習により、正確な読み取りと分かりやすい文を書くトレーニングを実践する	
	「言葉の順序」	例題により分かりやすい日本語の修飾関係を確認する	
7 限	要約力トレーニング④	要約練習により、正確な読み取りと分かりやすい文を書くトレーニングを実践する	
	「定義・分類の表現」	例題により「定義・分類」等、説明に便利な表現を身に付ける	
8 限	意見文への道①	事実と意見を書き分ける練習のため、要約と意見を書くトレーニングを実践する	
	「比較・対比の表現」	例題により「共通点・相違点」の表現ができる	
9 限	意見文への道②	事実と意見を書き分ける練習のため、要約と意見を書くトレーニングを実践する	
	「列挙・順序・因果関係」の表現	例題により、出来事の経過・因果関係を説明する表現が身につく	
10 限	意見文への道③	事実と意見を書き分ける練習のため、要約と意見を書くトレーニングを実践する	
	「引用の表現」	レポート・論文に用いられる「引用」の方法を、例題で練習する	
11 限	意見文を書く①	課題に対して、自分の意見を記述する。前提となる事実・意見・理由説明等適切であるか確認する	
	「敬語」	介護現場での人間関係を円滑にするための「正しい敬語」が使える	
12 限	意見文を書く②	「意見文を書く」①と別の課題で、事実・意見・理由説明に加え、構成ができる	
	「注意すべき敬語表現」	前回の「敬語」の内容を踏まえて、より実践的な「敬語」を運用する	
13 限	意見文を書く③	どのような課題でも「自分の意見」を展開できるか確認する	
	「記録文・レポート」を書く①	実習日誌を用いて、「記録文・レポート」を作成する。事実の記述に留意して完成する	
14 限	「記録文・レポート」を書く②	前回の内容に「意見・考察」を加える。また、「引用」による論証をする	
	「記録文・レポート」を書く③	「記述・レポート」を書く①②の仕上げとして、全体の構成を整え、表現の確認をする	
15 限	小論文を書く①	課題による「小論文」を作成する。メモ・事例・構成等、下書きをする	
	小論文を書く②	前回の内容で「小論文」を完成する	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	国語表現法	教員名	土川律子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	(前期)・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 記録・レポート等、倫理的文章を書くための基礎的な事項を学び、事柄をわかりやすく、正確かつ的確に伝える記述する記述力の習得を目標とする。記録文における文章全体の構成、また細部における客観的、具体的記述力を身に付ける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 本授業では、論理的文章の記述力を高めることを目標とする。自己の表現力を確認することから始め、基礎的事項を学び、文全体の構成、事実と意見を書き分ける等、わかりやすく論理的な文章の表現法を身に付ける。要約、意見文の記述により基礎力を養い、記録文を作る。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な記述のしかたを完成する</p>			
	使用教材	出版社	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：筆記試験、授業態度等を勘案し、A(80点以上)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下：不合格)で評価します			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ (無)			
【内容】			

科目名		科目時間総数	教員名
国語表現法		15 限	土川律子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	話し言葉	「話し言葉」「書き言葉」の基本を聴き取り表記できる	
	主語	「文の原則」主語と述語の関係等、獄都語句の関係を知り、要約できる	
2 限	文の組み立て	「文の組み立て」論理的な文章の接続と修飾関係を把握し、記述できる	
	文のつながりから	「文のつながり方」「視点」客観的記述における視点の置き方を把握する	
3 限	要約	「要約」前回までの内容確認のため、課題による「要約」を完成する	
	言葉の順序	「言葉の順序」を把握し、わかりやすい文章を構成できる	
4 限	文章構成	「定義・分類」も表現を学び、論理的な文章を構成できる	
	対比	「対比」対比の表現を知り、事実と意見の書き分けを意識し、記述できる	
5 限	引用	「引用」説明に必要な「引用」を用い、記述できる	
	意見文	「意見文」前回までの内容を確認し、課題による「意見文」を完成する	
6 限	列挙	「列挙」列挙の表現を学び、事例・論証の表現が可能になる	
	因果関係	「因果関係」因果関係の表現に留意し表現できる	
7 限	敬語	「敬語表現」敬語の基本的な表現ができる	
	小論文	「小論文を書く」論説文を用い、事実・事例・意見・論証を構成できる	
8 限	〃	「小論文を書く」論説文を課題とし、意見論述を完成する	
9	本学スクーリング	本学スクーリング	
~			
15			
限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	情報処理入門 I	教員名	阿部修巳
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1 年
		開講時期 :	前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 情報の意味と情報機器の発達過程とトータルな情報機器の理解、ワープロ、表計算、プレゼンテーションのオフィススイートの基本手操作の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・WORD (ワープロ) ・EXCEL (表計算) ・PowerPint (プレゼンテーション)</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>			
		使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	F O M出版	
教員用	WORD 2 0 1 9 基礎	//	
	EXCEL 2 0 1 9 基礎	//	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職 (事務職、設計業務、製作・組立)</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
情報処理入門 I		15 限	阿部修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	タイピング	パソコンの基本操作・用語、タッチメソッドの確認	
	〃	〃	
2 限	情報リテラシー WORDの基礎知識	現在のビジネス環境とネットワーク関連 タッチメソッドの練習、WORDの概要説明	
	文字入力	現在のビジネス環境とネットワーク関連 タッチメソッドの練習、色々な方法での日本語変換	
3 限	〃	〃	
	文書の作成	現在のビジネス環境とネットワーク関連 タッチメソッド、ページ設定	
4 限	〃	インターネットへの接続 タッチメソッド、簡単なビジネス文書の作成	
	〃	〃	
5 限	〃	インターネットへの接続 タッチメソッド、ビジネス文書の作成、ビジネス文書のフォーマット	
	〃	〃	
6 限	〃	〃	
	〃	セキュリティ対策とトラブルシューティング タッチメソッド、ビジネス文書の作成、ビジネス文書のフォーマット	
7 限	〃	〃	
	〃	〃	
8 限	確認試験	実技・知識的要素の確認	
1日目	Excelの基礎知識	Excelの概要	
	データの入力	Excelの概要、データの種類、演算記号	
	〃	データの種類、演算記号、基本操作	
	〃	Excelの基本操作	
	〃	Excelの基本操作、オートフィルの利用、簡単な表作成	
	表の作成	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定	
2日目	〃	〃	
	〃	いろいろな率の求め方、ROUND関数	
	〃	〃	
	数式の入力	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照	
	〃	〃	
	〃	〃	
	表作成練習	白紙の状態から、基本的な表作成練習	
	確認試験	知識的要素・実技的要素の確認	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	情報処理入門Ⅱ	教員名	阿部修巳
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 コンピュータネットワークや情報セキュリティ、情報発信に必要な基礎技術の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ コンピュータネットワーク ・ 情報セキュリティ ・ オフィススイートの利用方法</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	FOM出版	
教員用	EXCEL2019 基礎	//	
	EXCEL2019 ドリル	//	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職（事務職、設計業務、製作・組立）</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
情報処理入門Ⅱ		15 限	阿部修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	データの入力 〃	Excelの概要、データの種類、演算記号 データの種類、演算記号、基本操作	
2 限	〃 〃	Excelの基本操作 〃	
3 限	表の作成 〃	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定 〃	
4 限	〃 〃	〃 〃	
5 限	数式の入力 〃	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照 〃	
6 限	〃 〃	〃 関数（phonetic関数）、ふりがなの設定、ユーザ定義の表示形式	
7 限	〃 〃	〃 関数・絶対参照・各種設定の復習	
8 限	〃	〃	
1日目	Excel 表の印刷 〃	ページ設定、印刷様式の設定、改ページ箇所の変更…… 〃	
	グラフの作成 〃	グラフ機能の概要、円グラフと棒グラフの作成…… 〃	
	〃	複合グラフの作成、グラフィックの活用……	
	〃	〃	
	〃	〃	
	データベース 〃	並べ替えと抽出 〃	
2日目	ピボットテーブル	ピボットテーブルとピボットグラフの作成	
	WordとExcel 差し込み印刷	差し込み印刷の設定と印刷 〃	
		ピボットテーブルとピボットグラフの作成	
		差し込み印刷の設定と印刷	
	確認試験	実技的要素の確認	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	IT入門	教員名	阿部修巳
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : 講義 ・ <u>演習</u> ・ 実習
必修・選択の別 :	<u>必修</u> ・ 選択	配当学年 :	1年 開講時期 : 前期 ・ <u>後期</u> ・ <u>集中</u>
<p>【授業の目的・ねらい】 社会人が共通で備えておくべきITに関する基礎的な知識の理解と、スキルの習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ ITに関する基礎的な知識 ・ ITに関する基礎的なスキル</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	Word2019&Excel2019&PowerPoint2019	FOM出版	
教員用	WORD2019 基礎	〃	
	PowerPoint2019 基礎	〃	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 <u>5. PC実習室</u> 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u> <u>5. 実技試験</u> 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無</p>			
<p>【内容】 プラント、工場機械生産設備の開発・設計の実務、及びその管理職（事務職、設計業務、製作・組立）</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
IT入門		15 限	阿部修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ITパスポート 表の作成	現在のビジネス環境とネットワーク関連 タッチメソッド、簡単な表の作成	
2 限	〃	〃	
3 限	〃	現在のビジネス環境とネットワーク関連 タッチメソッド、表のデザインの設定（セル結合、配置）、段落罫線	
4 限	〃	〃	
5 限	ITパスポート ビジネス文書作成	現在のビジネス環境とネットワーク関連 タッチメソッド、複雑な表作成	
6 限	〃	インターネットへの接続 タッチメソッド、複雑な表作成	
7 限	〃	インターネットへの接続 いろいろなビジネス文書の作成	
8 限	〃	セキュリティ対策とトラブルシューティング いろいろなビジネス文書の作成	
1 日目	確認試験	知識的要素・実技的要素の確認	
2 日目	PowerPointの基礎知識	PowerPointの基礎知識	
	〃	〃	
	プレゼンテーションの作成	プレゼンテーションの作成手順、基本的な操作	
	〃	〃	
	〃	〃	
	〃	プレゼンテーションの作成手順、基本的な操作	
	文字の編集	プレースホルダー、文字の編集、箇条書きなどの書式設定操作	
	〃	〃	
	〃	〃	
	図の挿入	オンライン画像・ワードアート・グラフ・表などの挿入	
	〃	〃	
	特殊効果の設定	アニメーションの設定、画面切り替え効果の設定	
	〃	〃	
	確認試験	知識的要素・実技的要素の確認	
	〃	〃	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	IT応用	教員名	松森良子
科目時間数 :	15限 (30時間)	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 パソコンの実習を通して、情報を適切に活用するための技能を養い、それを実践できるよう学習する。 情報社会のルールやセキュリティの知識を身につけ、他科目で学習したOfficeソフトを使い、情報収集・蓄積・分析・表現ができるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・情報モラルとセキュリティ ・情報収集・蓄積・分析・表現</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識・技術を学び活用できる</p>			
	使用教材	出版社	
	情報リテラシー入門編 Windows10/Office2019対応	FOM出版	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
合格基準：情報モラルやセキュリティを理解し、課題レポートの作成ができる			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 2005年～現在 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 講師 所有資格：初級システムアドミニストレータ、中学校教員免許など			

科目名		科目時間総数	教員名
IT応用		15 限	松森良子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業概要	
2 限	情報モラル	個人情報の適切な取り扱いができる	
3 限	&情報セキュリティ	”	
4 限		デジタル時代の著作権を理解することができる	
5 限		ネット社会に潜む危険と対策を理解することができる	
6 限		”	
7 限	表計算活用	Webコミュニケーションの特色や注意点を理解することができる	
8 限	文書作成活用	”	
9 限		モバイル機器の活用と管理ができる	
10 限		電子メールのルール、マナーを理解し、活用できる	
11 限		情報分析、整理にEXCELを活用することができる	
12 限		新聞づくりにWORDを活用することができる	
13 限		”	
14 限	ビジュアル表現	図解、表、グラフ、写真、イラスト等を使った表現方法を理解することができる	
15 限		色と図形の効果が理解できる	
		図解表現の方法が理解できる	
		プレゼンテーション要点、形式、流れが理解できる	
		資料作成 (PowerPoint) ができる	
		”	
		グループディスカッションと資料作成ができる	
		↓	
		発表と自己・他者評価ができる	
		↓	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ビジネス実務概論	教員名 吉田 あかり		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 対人関係のあり方とその基本的な言動としてのビジネスマナーの基本を理解、実践できる</p> <p>【授業全体の内容の概要】 社会人となったとき、適切な考え方を持って行動ができるよう対人関係の重要性と、社会人としての言葉遣い・電話応対・来客対応の基本を学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 社会人として求められる心構えを理解し、社会人としてのビジネスマナーの基本を学び、その技術を実践することができる</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	ビジネス実務 －信頼を得ることの大切さ－ プリント	樹村房	
教員参考用			
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
1. 筆記試験は60点以上を合格とする			
4. 授業態度はルーブリック評価を参考とする			
【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
【内 容】 職業訓練校等にてビジネスマナー講師としての実務経験あり			

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス実務概論		15 限	吉田 あかり
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する	
2 限	社員の言動で会社のイメージが決まる	第一印象の大切さを理解し、挨拶と身だしなみの基本を実践する	
3 限	〃	言葉遣い（言葉遣い、敬語、接遇用語）を実践する	
4 限	〃	電話の特性や電話対応の心構えを理解し、電話のかけ方・受け方を実践する	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	来客対応（他社訪問、名刺の取り扱い）を実践する	
7 限	〃	〃	
8 限	実務の遂行	ホスピタリティとサービス（クレーム対応含む）を理解する	
9 限	〃	オフィス管理、時間管理と出張、会議・会合について理解する	
10 限	〃	ビジネス文書（一般の文書、文書の工夫）を作成する	
11 限	〃	情報管理、ファイリングの目的と方法、個人情報保護を理解する	
12 限	〃	慶弔、贈答の基本を理解する 企業環境の変化と自己啓発について理解する	
13 限	信頼される職業人	職業意識について考察する ビジネス活動について理解する	
14 限	〃	組織の人間関係について理解する 仕事をする上での心がまえを実践する	
15 限	〃	仕事の基本を理解する 信頼を得ることの大切さを理解する	

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス実務演習		15 時間	厨川久美子
コマ数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	学習の目標、合格に向けたスケジュール、並びにテキストの活用の仕方等、学習のすすめ方について理解する	
2 限	必要とされる資質	仕事を行うについて備えるべき要件、要求される人柄について学ぶ	
	職務知識	上司の機能と補佐役としての仕事の機能について学ぶ	
3 限	一般知識	社会常識並びに株式会社について初歩的な知識を習得する	
	マナー・接遇	電話対応のマナーと基本対応について学ぶ	
4 限		慶事と弔事への対応、贈答の習わしなど、交際業務について学ぶ	
		接遇の基本と来客対応の要領とマナーについて学ぶ	
5 限	総合学習	職場での話し方・聞き方、敬語と言葉遣いについて学ぶ	
	〃	検定対策として、過去問題で知識と技能について確認し学習する	
6 限	〃	〃	
	〃	〃	
7 限	〃	〃	
	〃	〃	
8 限	社会人に必要とされる 技能	ビジネス文書における社内文書と伝言メモについて習得する	
		〃	
ビジネス文書における社外文書について習得する			
〃			
グラフの作り方について学ぶ			
〃			
郵便に関する一般知識を習得する			
〃			
郵便物の受信・発信における基本業務を学ぶ			
〃			
〃			
〃			
資材管理、日程管理並びにオフィス管理の基本について学ぶ			
〃			
〃			
〃			

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 福祉住環境コーディネーター	教員名 加東 恵
科目時間数 : 12.5 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 高齢者や障がい者の身体機能や生活状況に配慮した福祉住環境の整備について理解する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 障がい者や高齢者のニーズに対応できる住宅改修の検討や、福祉用具等の利用について学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識・技術を習得する</p>	
	使用教材
	出版社
	福祉住環境コーディネーター検定試験 東京商工会議所
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験結果、及び出席率、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>【内容】 福祉施設での現場経験あり</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
福祉住環境コーディネータ		12.5 限	加東 恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション		
	暮らしやすい生活環境をめざして	少子高齢化社会と共生社会の道	
2 限	暮らしやすい生活環境をめざして	福祉住環境整備の重要性・必要性	
		在宅生活の維持とケアサービス	
3 限	健康と自立	高齢化の健康と自立	
		障がい者が生活の不自由を克服する道	
4 限	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザイン	
		生活を支える用具	
5 限		住まいの整備のための基本技術	
		生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい	
6 限		ライフスタイルの多様化と住まい	
		安心できる住生活	
7 限		安心して暮らせるまちづくり	
	地域で取り組む福祉のまちづくりの実践事例		
8 限	検定試験対策	過去問題	
9 限			
10 限			
11 限			
12 限			
13 限			

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ボランティア実践	教員名 遠山恵・大富和弘		
科目時間数 : 18	限 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 盛岡市社会福祉協議会との連携のもと、大慈寺地区における居場所づくりの立ち上げについて、学生が主体的に企画・運営する。地域で暮らす高齢者の声を拾い上げる等の地域アセスメントを通し、地域で生活する高齢者のニーズの抽出から、一定の仮説のもと居場所づくりを検討し、実施後は、検証の機会を設け、比較ができるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 「地域福祉の理論と方法」の時間ともあわせて、月1回半日程度の地域活動を行っていく。活動の前後では計画検討、活動評価を行い、最終は活動報告会を実施する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識・技術を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 地域活動経験あり			

科目名 ボランティア実践		科目時間総数 18 限	教員名 遠山恵・大富和弘
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	・居場所の必要性を理解する ・理想の居場所（仮説）を考える	講話「なぜ、居場所づくりが必要か？」 ワークショップ「こんな居場所だったらいいな」	
2 限	・地域を知る	大慈寺地区まちあるき 地域の高齢者の現況	
3 限	地域で暮らす高齢者の暮らしぶりを知る（ニーズ把握）	町内在住の高齢者へのヒアリング	
4 限	居場所プランの検討①	当事者ニーズの整理と課題抽出 理想の居場所（仮説）との比較	
5 限	居場所プランの検討②	居場所プランの基本方針の話し合い 居場所プランの作成	
6 限	居場所の実践1	実践活動①	
7 限	居場所の実践2	実践活動②	
8 限	活動評価と分析①	活動の振り返り	
9 限	居場所プランの検討③	居場所プランの作成	
10 限	居場所プランの検討④	居場所プランの作成	
11 限	居場所の実践3	実践活動③	
12 限	居場所の実践4	実践活動④	
13 限	活動評価と分析②	活動の振り返り	
14 限	活動評価と分析③	活動の振り返り	
15 限	活動成果の可視化	報告会に向けて今年度の活動内容を資料化する。	
16 限	活動成果の可視化	報告会に向けて今年度の活動内容を資料化する。	
17 限			
18 限	活動報告会	今年度の活動を報告する。	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ボランティア実践	教員名 大冨和弘・遠山恵
科目時間数 : 20 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 3年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 実際のボランティア活動の企画と実践を重ね、ボランティア活動の意義や関係者との関係構築・連携について学び、福祉実践に必要な実践力やコーディネート力を身につける。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ボランティア活動の企画・準備・実施・振り返りを行う。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、社会福祉専門職として福祉実践に必要な知識・技術を習得する。</p>	
使用教材	出版社
<p>【使用教室】 1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. <u>その他</u> ()</p> <p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. <u>レポート</u> 3. 出席 4. <u>授業態度</u> 5. 実技試験 6. <u>その他</u> ()</p> <p>【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。</p> <p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 【内容】 ボランティア活動経験あり。</p>	

科目名 ボランティア実践		科目時間総数 20 限	教員名 大富和弘・遠山恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イベントボランティア	河原清掃および祭りイベントのボランティア体験をする。ボラン	
2 限			
3 限			
4 限			
5 限			
6 限	西和賀ゆきあかり	毎年恒例の西和賀町ゆきあかり準備に参加する。	
7 限			
8 限			
9 限			
10 限	コミュニティーワーク	コミュニティーワーク演習に伴う地域共同活動を行う。	
11 限			
12 限			
13 限			
14 限			
15 限			
16 限	コミュニティーワーク	コミュニティーワーク演習に伴う地域共同活動を行う。	
17 限			
18 限			
19 限			
20 限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 レクリエーション実践	教員名 遠山恵		
科目時間数 : 15	限 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 レクリエーションの必要性にふれ、福祉現場に求められる知識と技術を実践的に学ぶ</p> <p>【授業全体の内容の概要】 レクリエーションに関する知識や技術を具体的な実技を通して学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において社会福祉専門職に必要な知識・技術を習得する</p>			
	使用教材	出版社	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	<input type="checkbox"/> 2. 介護実習室	<input type="checkbox"/> 3. 家政実習室	<input type="checkbox"/> 4. 視聴覚室
<input type="checkbox"/> 5. PC実習室	<input type="checkbox"/> 6. 接遇実習室	<input type="checkbox"/> 7. その他 ()	
【評価方法】			
<input type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
<input type="checkbox"/> 5. 実技試験	<input type="checkbox"/> 6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 行政施設での現場経験有り			

科目名		科目時間総数	教員名
レクリエーション実践		15 限	遠山恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	コロナウイルス状況下でのレクリエーション	大勢が集まることができない状況下で気晴らしになるようなレクリエーションを検討し、企画書を作成する。	
	〃	〃	
2 限	〃	〃	
	〃	〃	
3 限	〃	〃	
	〃	〃	
4 限	〃	〃	
	〃	〃	
5 限	〃	〃	
	〃	〃	
6 限	コロナウイルス状況下での運動	大勢が集まることができない状況下で気晴らしになるような運動や活動を検討し、実践を通じて学ぶ。	
	〃	〃	
7 限	〃	〃	
	〃	〃	
8 限	〃	〃	
	〃	〃	
9 限	〃	〃	
	〃	〃	
10 限	〃	〃	
	〃	〃	
11 限	コロナウイルス状況下におけるコミュニケーション	大勢が集まることができない状況下で人と人の接点を絶やさない方法を検討し、コミュニケーション実践を通じて学ぶ。	
	〃	〃	
12 限	〃	〃	
	〃	〃	
13 限	〃	〃	
	〃	〃	
14 限	〃	〃	
	〃	〃	
15 限	〃	〃	
	〃	〃	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 手話	教員名 我妻信子
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 基本的な手話の知識・技術を習得することにより、聴覚障がい者への理解を深める</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・聴覚障がい者の理解 手話の基礎知識について理解する</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について必要な知識と技術を習得する</p>	
	使用教材
	出版社
	手話を学ぼう 手話ではなそう
	社会福祉法人全国手話研修センター
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：授業態度及び出席率を勘案し筆記試験、実技試験合わせてA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>【内容】 福祉現場での実務経験あり。</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
手話		15 限	我妻信子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する	
	聴覚障がい者のコミュニケーション方法	手話の基礎知識 7つのコミュニケーション方法（グループ討議） あいさつの単語 伝え合ってみましょう	
2 限		名前を紹介 指文字	
3 限		聴覚障がい者の生活 私の大切な家族（ビデオ） 家族紹介	
4 限		家族紹介 家族紹介（グループ発表）	
5 限	聴覚障がい者の生活	高橋先生（聴覚障害の講師）講義 〃	
6 限	聴覚障がい者のコミュニケーション方法	数字（誕生日・時間・お金・・・）いつ？いくら？いくつ？ 〃	
7 限		趣味・季節 趣味 自己紹介の練習	
8 限		仕事 あなたの家を紹介しましょう（地名・住所・交通手段・・・） 〃	
9 限		読み取りの練習（ビデオ）	
10 限		聴覚障害の基礎知識	
		前期試験	
11 限		作文作成（テーマは自由）手話に変換 〃	
12 限		〃	
		〃	
13 限		〃	
	〃		
14 限	〃		
	〃		
15 限	発表	手話で発表	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	教員名
点字	杉本 則子
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 視覚障がい児・者の理解の啓発と適切な支援のあり方を通して、心豊かな人材の育成を図る</p> <p>【授業全体の内容の概要】 視覚障がいと関連医学領域の基礎知識を理解し、同時に視覚障がいに起因する介護・指導上の諸問題を理解する。残存感覚機能とその活用、介護技術、福祉用具について理解する</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、社会福祉専門職として社会福祉の実践に必要な知識と技能を習得する</p>	
	使用教材
	出版社
	岩手の障がい児教育史～特殊教育から特別支援教育への発展～ 岩手県障がい児教育史研究会編
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験の成績により、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>【内容】 視覚支援学校での実務経験あり。</p>	

科目名 点字		科目時間総数 15 限	教員名 杉本 則子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	障がい児・者について	岩手の障がい児教育史（戦前）	
2 限		岩手の障がい児教育近代史（戦後）	
3 限		変わりゆく社会（障がい観、UD、QOL等）	
4 限	視覚障がいについて	視機能について（目の構造と機能）	
5 限		視覚障がい I	
6 限		視覚障がいの不自由さ	
7 限		視覚障がい者の歩行（点字ブロック）	
8 限		コミュニケーションと歩行・弱視について	
9 限	点字	点字の歴史（点字発案に至る経緯）	
10 限		点字の読み方のきまり	
11 限		点字の五十音と読み方の演習	
12 限		数字とアルファベット、その他の記号	
13 限		点字の分かち書きの読み方	
14 限		点字総括演習	
15 限	まとめ	まとめ	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	就職研究 I	教員名	遠山恵・大富和弘
科目時間数 :	2	限	
必修・選択の別 :	必修・選択	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
		配当学年 :	2年
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 就職活動へ向けての流れを理解し、自分の就職、仕事について理解を進める</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 職場見学 ・ 求人票の見方について ・ 先輩講話</p> <p>【授業における達成課題】 先輩の話聞き、現段階での自分の課題について気づき、自らの行動へと繋げていくことができる</p>			
	使用教材	出版社	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について :			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 福祉現場での実務経験。			

科目名 就職研究 I		科目時間総数 2 限	教員名 遠山恵・大富和弘
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	講話	就職先が決まった先輩の話聞きながら、就職活動に対するイメージを持つ	
		〃	
2 限	職場見学	福祉の現場の見学を行い、職場の理解を深める	
		振り返り	
	就職先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人面談等をふまえながら、それぞれの就職について考える ・ 求人票の見方を理解する ・ 就職活動の流れについて理解する 	

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	就職研究Ⅱ	教員名	佐藤雅子
科目時間数 :	15	限	
必修・選択の別 :	必修・選択	授業の種類 :	講義・演習・実習
		配当学年 :	3年
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 ・就職活動において自ら求人票を検索し、諸条件を勘案して具体的な進路選択ができるようになる。 ・履歴書作成や面接における基本的な事項を理解し、改めて自分の経歴や志望動機を整理した上で、実際の就職に結びつける。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 就職活動に関する講義および演習、セミナー受講、個別での職場見学等を通じて学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 自身の進路を明確にし、自分に適した就職先への内定を目指す。</p>			
	使用教材	出版社	
教員	教員準備教材を使用		
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無 【内容】 社会福祉士としての実務経験</p>			

科目名 就職研究Ⅱ		科目時間総数 15 限	教員名 佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	就職活動の基本理解	履歴書の書き方、基本的な手続きやマナー等について学ぶ。	
2 限	求人情報の取得方法	求人情報の取得、検索方法、求人票の見方について学ぶ。	
3 限	自己分析ワーク	履歴書作成と面接に向けた自己分析ワークを行う。	
4 限			
5 限	志望動機の整理	仮履歴書で自分の経歴や志望動機を整理する。	
6 限	面接練習	想定される質問内容に対して自分の応答を考える。 面接マナーを確認する。	
7 限		【模擬面接】 試験官に対して自分の思いや考えを整理して伝えることができる。	
8 限			
9 限			
10 限	職場訪問 就職セミナー参加	様々な求人情報等を吟味したうえで、自分が気になる求人先に個々に連絡をとり、見学することで職場の雰囲気を理解し、自分の判断に役立てる。就職セミナー等へ参加する。	
11 限			
12 限			
13 限			
14 限			
15 限			

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	卒業論文研究	教員名	大富和弘・佐藤雅子
科目時間数 :	30	限	
必修・選択の別 :	必修・選択	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
		配当学年 :	3年
		開講時期 :	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 現代社会における様々な福祉問題に対し、その解決に向けて考える力を養う。			
【授業全体の内容の概要】 全体で論文の概要、書き方について理解をし、グループごとに添削指導を受け、完成させる。			
【授業における達成課題】 3年間の学び、実習で学んだことの整理、言語化をしながら、それぞれのテーマについて考察し、文章化する。			
	使用教材		出版社
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】 上記を勘案して得点化し、A (80点以上)、B (70点以上80点未満)、C (60点以上70点未満)、D (60点未満：不合格) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 論文作成経験あり。			

科目名		科目時間総数	教員名
卒業論文研究		30 限	大富和弘・佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限 2 限	論文の概要	論文の概要・書き方について学習する。	
3 限 4 限	論文構成	論文の構成メモを作成する。	
5 限 6 限 7 限 8 限 9 限 10 限 11 限 12 限 13 限 14 限 15 限 16 限 17 限 18 限 19 限 20 限 21 限 22 限 23 限 24 限	論文下書き	論文の下書き・添削をする。	
25 限 26 限	論文の清書	論文の清書・製本を行う。	
27 限 28 限 29 限 30 限	論文発表会	それぞれの論文について発表を行う。	

授業計画表

社会福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 国家試験研究	教員名 佐藤雅子	
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 社会福祉士国家試験の概要を理解し、出題傾向のポイントなどをおさえ、自己学習の流れを確立させる</p> <p>【授業全体の内容の概要】 初回事業で学生が主体的に本授業で対策を行う科目（5科目程度）を決定する。 2回目以降は、学生が教材を使用しながら演習形式で実際の国家試験過去問題で取り組み、教員が解説を行う。</p> <p>【授業における達成課題】 過去問題への取り組みにより、国家試験の概要について理解し、卒業後の合格をめざして自己学習が進められるようにする。</p>		
	使用教材	出版社
	社会福祉士の合格教科書	株式会社テコム
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）</p>		
<p>【備考】</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 社会福祉士としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
国家試験研究		15 限	佐藤雅子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	社会福祉士国家試験の概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士試験の受験状況 試験科目と合格基準、合格者データ 実際の試験問題の確認と全体的な出題傾向 	
2 限	過去問題演習	過去問題演習【1科目目】と解説	
3 限			
4 限			
5 限		過去問題演習【2科目目】と解説	
6 限			
7 限			
8 限		過去問題演習【3科目目】と解説	
9 限			
10 限			
11 限		過去問題演習【4科目目】と解説	
12 限			
13 限			
14 限		まとめ	社会福祉士国家試験に向けた学習方法
15 限			

授業計画表

社会福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 LHR	教員名 遠山恵・大富和弘	
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	担当学年 : 1～3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 様々な行事の企画、実践を通しクラスの間人間関係を構築する。他学科の学生との交流を通し、他職種連携の必要性について理解を深める</p>		
<p>【授業全体の内容の概要】 ・特別講義 ・MIP s (他職種連携授業) ・クラ ス行事の企画・準備・実施</p>		
<p>【授業における達成課題】 活動の体験を通し、企画力、実践力を身に付ける。様々な役割を担えるようになる</p>		
	使用教材	出版社
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 教務経験あり。</p>		

科目名 LHR		科目時間総数 15 限	教員名 遠山恵・大富和弘
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限		各種作業等適宜進める。	
2 限			
3 限			
4 限			
5 限			
6 限	連絡事項		
7 限	行事等準備		
8 限			
9 限			
10 限			
11 限			
12 限			
13 限			
14 限			
15 限			